

リファレンス

Novell® ZENworks® 10 Patch Management SP2

10.2

2009 年 5 月 27 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っていない。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っていない。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2009 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell Documentation の Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 ZENworks 10 Patch Management の概要	9
1.1 パッチのダウンロード	9
1.2 パッチの展開	9
1.3 ベースラインの設定	10
1.4 ダッシュボードレポート	10
1.5 パッチダウンロードステータス	11
2 パッチ管理の概要	13
2.1 製品の概要	13
2.2 パッチ管理プロセス	14
2.3 パッチ管理の機能	14
3 パッチ管理の使用	17
3.1 サブスクリプションサービス情報の表示	17
3.2 HTTP プロキシ詳細の設定	20
3.3 サブスクリプションダウンロード詳細の設定	22
3.4 パッチ管理のライセンス	25
4 [パッチ管理] タブの使用	29
4.1 パッチの表示	29
4.2 Dashboard	30
4.3 ステータス	32
4.3.1 ステータス	32
4.3.2 キャッシュステータス	33
4.4 [パッチ] ページの使用	33
4.4.1 パッチ	33
4.4.2 パッチ情報	38
4.4.3 パッチの検索	39
4.4.4 パッチ管理	41
4.5 パッチ管理のレポート	42
4.6 パッチの BOE レポート	43
5 改善の展開ウィザードの使用	45
5.1 展開スケジュールの作成	45
5.2 デバイスの確認	46
5.3 使用許諾契約	47
5.4 改善スケジュール	48
5.4.1 展開スケジュール: 日付特有	49
5.4.2 改善スケジュール: 繰り返し	50
5.4.3 改善スケジュール: イベント	55
5.5 改善オプション	56
5.6 詳細修正オプション	57

5.7	展開順序および動作	60
5.8	インストール前の通知オプション	61
5.9	通知および再起動オプション	63
5.10	展開概要	65
6	強制的なベースラインの使用	67
6.1	強制的なベースラインについて	67
6.1.1	強制的なベースラインの表示	67
6.1.2	[強制的なベースライン] ページの使用	69
6.2	強制的なベースラインの使用	70
6.2.1	強制的なベースラインの割り当てまたは管理	71
6.2.2	強制的なベースラインの削除	72
6.2.3	[更新キャッシュ] の使用	73
7	デバイスのパッチ管理	75
7.1	デバイスの [パッチ] タブへのアクセス	75
7.2	デバイスの [パッチ] タブの使用	77
7.2.1	パッチ	78
7.2.2	パッチ名	78
7.2.3	利用可能なパッチの合計数	78
7.2.4	パッチの影響	79
7.2.5	パッチの統計情報	80
7.2.6	[アクション] メニュー項目	80
7.2.7	パッチの検索	81
7.2.8	パッチ情報	83
7.2.9	ワークステーションデバイスのパッチ	84
8	デバイスグループのパッチ管理	87
8.1	サーバグループ内での [パッチ] タブの使用	87
8.2	ワークステーショングループ内での [パッチ] タブの使用	88
A	パッチ管理のトラブルシューティング	91
A.1	インストールに関する問題	91
A.2	アップグレードに関する問題	91
A.3	パッチ管理の問題	93
A.4	設定の問題	97

このガイドについて

この『パッチ管理リファレンス』には、Novell® ZENworks® 10 Patch Management システムを正しくインストールするために役立つ情報が記載されています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「ZENworks 10 Patch Management の概要」
- ◆ 13 ページの第 2 章「パッチ管理の概要」
- ◆ 17 ページの第 3 章「パッチ管理の使用」
- ◆ 29 ページの第 4 章「[パッチ管理] タブの使用」
- ◆ 45 ページの第 5 章「改善の展開ウィザードの使用」
- ◆ 67 ページの第 6 章「強制的なベースラインの使用」
- ◆ 75 ページの第 7 章「デバイスのパッチ管理」
- ◆ 87 ページの第 8 章「デバイスグループのパッチ管理」
- ◆ 91 ページの付録 A「パッチ管理のトラブルシューティング」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。[ZENworks 10 SP2 マニュアル Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zcm10\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10) を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

ZENworks 10 Patch Management の概要

1

パッチ管理は Novell® ZENworks® 10 に完全に統合された機能で、旧バージョンと同様に、パッチ、脆弱性パッチ、およびコンプライアンスを管理するためのエージェントベースのソリューションを提供します。

ZENworks サーバは、すべての ZENworks 管理対象デバイス (サーバとワークステーション) に対して Discover Applicable Updates (DAU) タスクをスケジュールし、オペレーティングシステム、ハードウェア、およびソフトウェアに関する情報をまとめます。

スキャン結果は ZENworks サーバに送信され、ワークステーションがネットワークに接続されていなくとも、[パッチ管理] タブまたは [デバイス] タブの [パッチ] セクションでいつでも表示できます。

上記の情報に基づいて、パッチがそれぞれのデバイスに適用可能かどうか判断されます。該当する場合は、ZENworks Adaptive Agent は各パッチに組み込まれているパッチフィンガープリントを使用してもう一度スキャンを実行し、そのパッチに関連するデバイスのパッチステータス (「パッチ適用済み」または「パッチ未適用」) を判断します。スキャン結果は ZENworks コントロールセンターの [パッチ管理] タブに表示され、管理者が確認できます。

パッチステータスが設定されたら、ZENworks 管理者はネットワーク上で該当する各デバイスに目的のパッチを展開できます。

ZENworks 10 Patch Management SP2 には、次の機能が搭載されています。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「パッチのダウンロード」
- ◆ 9 ページのセクション 1.2 「パッチの展開」
- ◆ 10 ページのセクション 1.3 「ベースラインの設定」
- ◆ 10 ページのセクション 1.4 「ダッシュボードレポート」
- ◆ 11 ページのセクション 1.5 「パッチダウンロードステータス」

1.1 パッチのダウンロード

パッチのダウンロードを開始するには、まず [環境設定] タブにアクセスして、ダウンロードを設定します。詳細については、22 ページのセクション 3.3 「サブスクリプションダウンロード詳細の設定」を参照してください。

1.2 パッチの展開

パッチを展開するには、改善の展開ウィザードを使用します。詳細については、45 ページの第 5 章 「改善の展開ウィザードの使用」を参照してください。

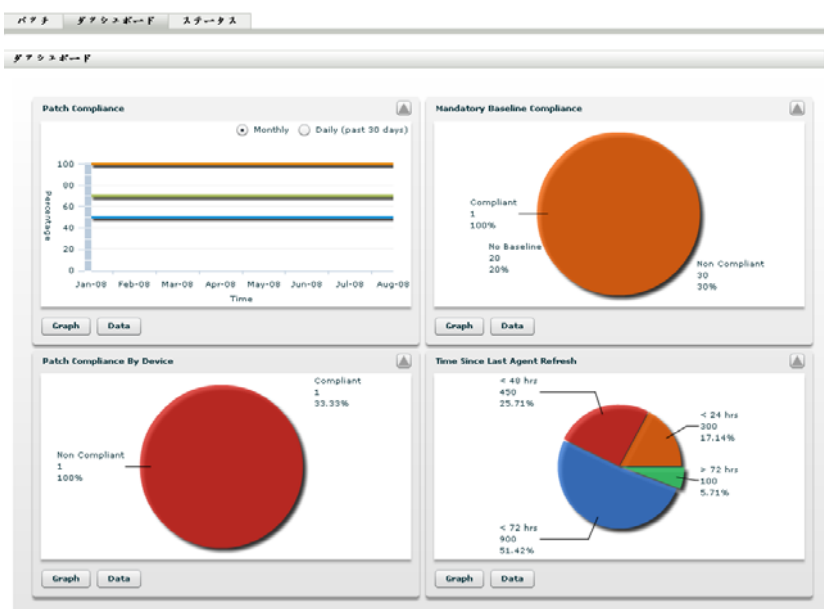
1.3 ベースラインの設定

ベースラインを設定するには、デバイスグループを確実に保護し、グループ内のすべてのデバイスに一貫して確実にパッチが適用されるようにする必要があります。詳細については、[67 ページの第 6 章「強制的なベースラインの使用」](#)を参照してください。

1.4 ダッシュボードレポート

ダッシュボードレポートで、ユーザはシステムの概要を直接確認できます。詳細については、[30 ページのセクション 4.2「Dashboard」](#)を参照してください。

図 1-1 [ダッシュボード] ページ



1.5 パッチダウンロードステータス

[ステータス] ページには、システムとキャッシュのステータスがあり、パッチ情報全般を示しています。詳細については、[32 ページのセクション 4.3 「ステータス」](#)を参照してください。

図 1-2 [ステータス] ページ

パッチ	ダウンロード	ステータス
ステータス		
名前	ステータス	
署名のダウンロード	完了	
署名の最終ダウンロード時刻	mal/20/2009 12:23:15	
バンドルダウンロード	完了	
パッチの最終ダウンロード	mal/20/2009 13:18:08	
失敗したダウンロード数	1	
キャッシュにスキューミングされたパッチ数	4	
アプライなパッチの数	2966	
新規パッチ数(30日以内)	102	
最新パッチのリリース日	mal/13/2009 00:00:00	
キャッシュステータス		
名前	ステータス	エラー詳細(存在する場合)
Mozilla Firefox (Chinese-CHS) 3.0.10 for Windows (Update)	キューに入りませんでした	
Mozilla Firefox (Chinese-CHT) 3.0.10 for Windows (Update)	キューに入りませんでした	
McAfee AntiVirus VirusScan 4.5 - 8.5 SuperDAT 5300 Engine/5614 DAT File (May 12, 2009)	失敗	1つ以上のパッチのダウンロードに失敗しました
Cumulative Security Update for ActiveX Killbits for Windows 2000 (KB953839)	キューに入りませんでした	Cache request ignored. You must enable the patch before trying again.
MS 895658 (Portuguese-PTB) Outlook 2003 Junk E-mail Filter Update (July 2005) (Rev AL)	キューに入りませんでした	Cache request ignored. You must enable the patch before trying again.
1 - 5/5		

パッチ管理の概要

Novell® ZENworks® 10 Patch Management は ZENworks 10 製品ラインの一部で、中規模および大規模企業ネットワーク向けの、完全統合された優れたパッチおよびパッチ管理ソリューションです。パッチ管理を使用すると、顧客は自動化された継続的な保護対策を組織のセキュリティパッチポリシーから容易に構築することができ、今日の企業ネットワークにとって脅威とされる脆弱性の 90% 以上を保護できます。パッチ管理により、最も正確でタイムリーなパッチ評価およびパッチ管理を提供することで、ポリシー測定とセキュリティ監査にネットワークセキュリティの状況を正確に反映させることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 13 ページのセクション 2.1 「製品の概要」
- 14 ページのセクション 2.2 「パッチ管理プロセス」
- 14 ページのセクション 2.3 「パッチ管理の機能」

2.1 製品の概要

パッチ管理は環境設定管理スイートに完全統合された機能で、ZENworks Patch Management 6.4 など、以前のスタンドアロンバージョンで使用されていたものと同じ、エージェントベースのパッチ、脆弱性パッチ、コンプライアンス管理ソリューションを提供します。

パッチ管理は、高速パッチ修正機能を備えており、異機種混在型の企業全体でパッチの収集、分析、および配信を自動化してエンドポイントのセキュリティを確保することによって未然に脅威を管理できます。

ZENworks サーバには、ZENworks コントロールセンターと呼ばれる Web ベースの管理ユーザインタフェースが備わっています。パッチ管理の機能で、パッチコンプライアンスを企業全体で監視し、維持できます。ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバは、ZENworks Adaptive Agent をターゲットネットワーク内のすべてのクライアントシステムに展開することができ、すべてのシステムを最新のセキュリティパッチ、ソフトウェアアップデート、およびサービスパックで確実に保護することができます。

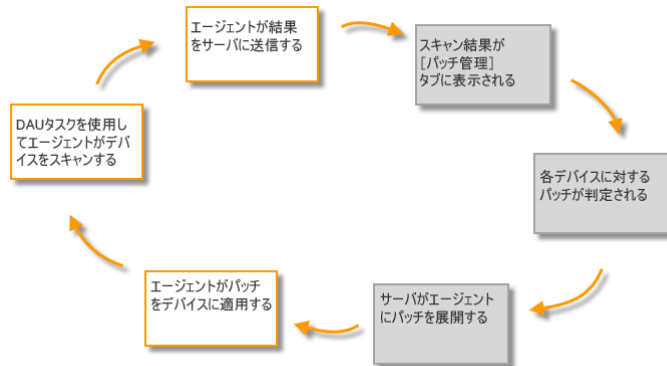
パッチ管理機能は、ZENworks Patch Subscription Network とセキュアな接続で定期的に通信することにより、常に最新のパッチと修復プログラムが適用された最新の状態に保たれます。最初の 60 日間の無料評価期間が過ぎた後、パッチ管理機能の最新のパッチおよび脆弱性情報を引き続き毎日ダウンロードするには、有料のサブスクリプションが必要です。

新しいパッチが ZENworks Patch Subscription Network にリリースされると、自動的に ZENworks サーバにダウンロードされ、管理者に電子メールが送信されます。管理者は、ZENworks コントロールセンターにログインすると、展開が必要な新しいパッチとデバイスのリストと、説明および業務への影響の概要を簡単に参照できます。この時点で、管理者はパッチをデバイスに展開するか、パッチを無視するかを選択できます。

2.2 パッチ管理プロセス

次のプロセスマップは、ZENworks サーバと ZENworks Adaptive Agent の間でパッチ情報がどのように伝えられるかを示しています。

図 2-1 プロセスマップ



パッチ検出サイクルは、Discover Applicable Update(DAU) タスクがすべての ZENworks 管理対象デバイス (サーバとワークステーション) にスケジュールされている ZENworks サーバで毎日開始します。

DAU タスクでのすべてのパッチについて、ZENworks Adaptive Agent は、それぞれの個別パッチに組み込まれたパッチフィンガープリントを使用してパッチ検出を実行します。これにより、そのデバイスのパッチのステータス (パッチ適用済み、パッチ未適用、適用なし) を判定します。

パッチ検出結果は ZENworks サーバに送信され、ワークステーションがネットワークに接続されていなくとも、[パッチ管理] タブまたは [デバイス] タブの [パッチ] セクションでいつでも表示できます。

パッチ検出サイクルが完了した後、ZENworks 管理者は目的のパッチをネットワーク上の該当するデバイスに展開できます。

2.3 パッチ管理の機能

パッチ管理には世界最大級の自動化パッチのリポジトリがあり、すべての主要オペレーティングシステムおよびさまざまなサードパーティアプリケーション向けのパッチを含んでいます。パッチ管理の特徴は、エージェントベースのアーキテクチャ、パッチパッケージの事前テスト、拡張性の高いソフトウェア、および使いやすい機能で、顧客は業界平均より 13 倍も高速にパッチを適用できます。

特許取得済みの Digital Fingerprinting Technology は、パッチと脆弱性の評価、修復、および監視のための非常に正確なプロセスを提供し、すべてのシステムを攻撃から保護します。修正は、ウィザードベースのパッチ展開、段階的ロールアウトのサポート、パッチインストールの高速な検証などにより、高速で正確です。パッチ管理は常にエンドポイントを監視して、迅速にパッチコンプライアンスを達成し、継続してパッチが適用されるようにします。

パッチ管理を使用すると、システムに効果的にパッチを適用し、システムが IT および規制のコンプライアンス監査に正常に準拠するようにできます。パッチ管理は、特定のコンピュータに適用されていないパッチすべてが含まれたパッチフィンガープリントプロファイルを作成し、各エンドポイントの継続的なコンプライアンスを実現します。各エンドポイントは継続的に監視され、パッチが適用された状態に保たれます。管理者は強制的なベースラインを設定して、定義済みパッチレベルを満たさないエンドポイントを自動的に修復することもできます。これは規制へのコンプライアンスの重要な要素です。また、多くの組織はパッチへのコンプライアンスを証明する必要があるため、パッチ管理には、変更内容を文書化し、内外の監査とコンプライアンス要件に対する進行状況を示す標準的なレポートが含まれます。

次の表は、パッチ管理の重要な機能について示しています。

表 2-1 パッチ管理の機能

機能	説明
特許取得済みのマルチプラットフォームパッチ管理	Windows [*] (32 ビットおよび 64 ビット) や Linux 配布パッケージで構成される異機種混在ネットワークにおいて、すべてのオペレーティングシステムとアプリケーションのセキュリティを実現します。米国特許番号 #6999660
世界最大の自動化パッチリポジトリ	テスト済みパッチの最大リポジトリを備えており、企業で使用するすべての主要オペレーティングシステムとアプリケーションをサポートします。
広範な事前テスト	パッチ展開前に必要な開発およびテストの時間を短縮します。
エージェントベースのアーキテクチャ	頻繁にネットワークから接続解除されるラップトップやモバイルデバイスを保護し、ネットワーク帯域幅の使用率を削減します。
自動通知	管理者が予防的にセキュリティ保護および管理を行えるように、電子メールアラートを管理者に直接配信します。
パッチフィンガープリント精度	セキュリティパッチの検出において最高レベルの精度を保証します。
複数パッチ展開	複数パッチを一度の配布で複数のコンピュータに配布し、IT 生産性を高めます。
フレキシブルなアプリケーションレポート	組織のセキュリティステータスを監査し、レポートを生成します。
ポリシーベースの管理	すべてのシステムが強制的なベースラインポリシーに確実に一致するようにします。これは規制へのコンプライアンスの重要な要素です。

パッチ管理の使用

Novell® ZENworks® 10 Patch Management は、サブスクリプションステータスに関する最新情報を提供し、サブスクリプションをアクティブ化して設定できるようにします。

次のセクションでは、パッチ管理の機能について詳しく説明します。

- 17 ページのセクション 3.1 「サブスクリプションサービス情報の表示」
- 20 ページのセクション 3.2 「HTTP プロキシ詳細の設定」
- 22 ページのセクション 3.3 「サブスクリプションダウンロード詳細の設定」
- 25 ページのセクション 3.4 「パッチ管理のライセンス」

3.1 サブスクリプションサービス情報の表示

- 1 左パネルの [環境設定] タブをクリックします。

[環境設定] ページが表示されます (次の図を参照)。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	アセット管理	システム更新
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートイングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					

- 2 [パッチ管理] をクリックします。

3 つのリンク、[サブスクリプションサービス情報]、[HTTP プロキシの環境設定]、[サブスクリプションダウンロード] が表示されます。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	アセット管理	システム更新
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートイングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					
カテゴリ		説明			
サブスクリプションサービス情報		サブスクリプションログを表示してサブスクリプション設定を更新する			
HTTP プロキシの環境設定		インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするための HTTP プロキシの環境設定			
サブスクリプションダウンロード		サブスクリプションダウンロードオプションの設定			

- 3 [サブスクリプションサービス情報] リンクをクリックします。

[サブスクリプションサービス情報] ページが表示されます (次の図を参照)。

サブスクリプションサービス情報

サブスクリプションサービスの開始: /デバイス/サーバ/nov-fr-ddsvr サービス実行中

最後のサブスクリプションボーナ: 09/05/20 12:23

サブスクリプションレプリケーションステータス: 完了

サブスクリプションホスト: novell.patchlink.com

サブスクリプション通信間隔(毎日): 00:00 今すぐ更新

タイプ	ステータス	開始日	終了日	期間	成功	エラー詳細(存在する場合)
ライセンス	完了	09/05/21 13:51	09/05/21 13:51	00:00:00	False	
バンドル	完了	09/05/20 13:18	09/05/20 13:18	00:00:00	True	
パッチ	完了	09/05/20 12:23	09/05/21 3:07	14:44:21	True	

OK 適用 リセット キャンセル

[サブスクリプションサービス情報] ページには、ステータスなど、サブスクリプションに関するすべての情報が表示されます。また、サブスクリプション設定をアップデートすることもできます。

サブスクリプション情報をリフレッシュするには、[サブスクリプション情報] ページの [アクション] ドロップダウンリストをクリックして [リフレッシュ] オプションを選択します (次の図を参照)。

アクション

更新

[項目の表示] ドロップダウンリストをクリックして目的の数字を選択すると、1 ページに表示する項目の数を選択できます (次の図を参照)。

項目の表示

10

次の表は、[サブスクリプションサービス情報] ページに示される各ステータス項目について説明しています。

ステータス項目	定義
サブスクリプションサービスの開始	<p>管理ゾーン内の複数のサーバからサーバを選択することができます。サブスクリプションサービスを開始するには、ドロップダウンリストからサーバを選択して [開始] ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ サブスクリプションサービスの実行が開始されると、[開始] ボタンが [実行中のサービス] になります。 ◆ 管理ゾーンに複数の ZENworks サーバがある場合は、任意の 1 つを選択してパッチ管理サーバに指定することができます。 <p>パッチ管理サーバとして選択されたサーバは、新しいパッチとアップデートを毎日ダウンロードするために、インターネットに最適な状態で接続できる必要があります。</p> <p>注: パッチ管理サーバを選択できるのは、このリリースのゾーンごとに 1 回だけです。</p>
最後のサブスクリプションポール	前回正常にアップデートが実行された日時。
サブスクリプションレプリケーションステータス	パッチサブスクリプションレプリケーションのプロセスの最新ステータス。
サブスクリプションホスト	パッチ管理 ライセンスサーバ (http://novell.patchlink.com) の DNS 名。
サブスクリプション通信間隔 (毎日)	ZENworks サーバが ZENworks Patch Subscription Network と通信して、新しいパッチとアップデートを取得する時刻。

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	サブスクリプション通信間隔に対して行った変更を保存できます。
リセット	レプリケーションステータスをリセットして、ZENworks Patch Subscription Network との完全なレプリケーションを開始します。
今すぐ更新	ZENworks サーバと ZENworks Patch Subscription Network のレプリケーションを開始し、パッチサブスクリプションを強制的にただちにダウンロードします。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

[サブスクリプションサービス履歴] セクションにはサブスクリプション動作の動作状況ログが表示されます。次の表は、このセクションの各項目について説明しています。

項目	定義
タイプ	アカウントに定義されているサブスクリプションタイプ。つまり、「パッチ (サブスクリプションレプリケーション)」、「バンドル (サブスクリプションレプリケーション)」、および「ライセンス」です。
ステータス	レプリケーションのステータス。レプリケーションが開始されると、ステータスは [実行中] になります。レプリケーションが終了すると、ステータスは [完了] になります。 注: レプリケーションプロセスが中断されると、ステータスは [リセットしていません] になります。これは、レプリケーションプロセスが中断されたポイントから再開されたことを示します。
開始日	レプリケーションが開始された日時。
最終日	レプリケーションが終了した日時。
期間	レプリケーションの実行時間。
成功	レプリケーションが成功したかどうかを示します。[True] はレプリケーションが成功したことを、[False] はレプリケーションが完了してないか失敗したことをそれぞれ示します。
エラー詳細 (存在する場合)	ダウンロードプロセス中にエラーが発生した場合、ここに詳細が表示されます。

3.2 HTTP プロキシ詳細の設定

- 1 左のパネルで [環境設定] タブをクリックして、[環境設定] ページを表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	アセット管理	システム更新
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
デバイスカバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートインテグレーションサービス					
アセット管理					
パッチ管理					

- 2 [パッチ管理] をクリックして、3 つのリンク ([サブスクリプションサービス情報]、[HTTP プロキシの環境設定]、[サブスクリプションダウンロード]) を表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	アセット管理	システム更新
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリと展開					
イベントとメタセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートインテグレーションサービス					
アセット管理					
パッチ管理					
カテゴリ		説明			
サブスクリプションサービス情報		サブスクリプションログを表示してサブスクリプション設定を更新する			
HTTPプロキシの環境設定		インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするためのHTTPプロキシの環境設定			
サブスクリプションダウンロード		サブスクリプションダウンロードオプションの設定			

- 3 [HTTP プロキシの設定] リンクをクリックします。[プロキシサーバ詳細] ページが表示されます。

環境設定 > HTTPプロキシの環境設定

HTTPプロキシの環境設定

インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするためのHTTPプロキシの環境設定

HTTPプロキシサーバ詳細

プロキシホスト

ポート

☐ 認証が必要ですか?

ユーザ名

パスワード

パスワードの確認

OK 適用 リセット キャンセル

[プロキシサーバ詳細] ページでは、インターネットパッチサブスクリプションにアクセスできるように HTTP プロキシを設定することができます。HTTP プロキシサーバを使用すると、パッチ管理がサブスクリプションサービスをインターネット経由でダウンロードできます。

次の表は、[プロキシサーバ詳細] ページの各フィールドについて説明しています。

項目	説明
プロキシホスト	ZENworks Patch Subscription Network に接続するために使用するプロキシアドレス。
ポート	ZENworks Patch Subscription Network に接続するために使用するプロキシポート。
認証の要求	このチェックボックスをオンにすると、プロキシサーバはユーザ認証後にのみ使用可能になります。このチェックボックスをオンにすると、[ユーザ名] および [パスワード] フィールドが有効になります。
ユーザ名	認証に使用するユーザの名前。
パスワード	認証に使用するユーザのパスワード。
パスワードの確認	ユーザの確認用パスワード。

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	テキストフィールドに入力したデータを保存できます。
リセット	テキストフィールドに入力したデータをリセットできます。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

3.3 サブスクリプションダウンロード詳細の設定

- 1 左のパネルで [環境設定] タブをクリックして、[環境設定] ページを表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	アセット管理	システム更新
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリエーションと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートサービス					
アセット管理					
パッチ管理					

- 2 [パッチ管理] をクリックして、3 つのリンク ([サブスクリプションサービス情報]、[HTTP プロキシの環境設定]、[サブスクリプションダウンロード]) を表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	アセット管理	システム更新
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリエーションと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートサービス					
アセット管理					
パッチ管理					
サブスクリプションサービス情報					
HTTP プロキシの環境設定					
サブスクリプションダウンロード					

- 3 [サブスクリプションダウンロード] リンクをクリックして、[サブスクリプションダウンロードオプション] ページを表示します。

[サブスクリプションダウンロードオプション] ページでは、パッチ管理サーバのサブスクリプションダウンロードオプションを設定することができます。ネットワークで使用する言語を選択することで、組織に最も適したパッチのみをダウンロードできます。次にパッチレプリケーションが実行されると、言語固有のパッチのみがダウンロードされるため、パッチ管理サーバでのダウンロード時間とディスク容量が節約されます。

注: 1つの言語で数百ものパッチになる場合があるため、すべての言語を選択することはお勧めしません。不要な言語をダウンロードすると何千もの不要なパッチ定義がZENworks プライマリサーバデータベースにダウンロードされ、[パッチ管理] タブ内でそれらを無効にしなければなりません。

次の表は、[サブスクリプションダウンロードオプション] ページの各オプションについて説明しています。

項目	説明
言語オプションを選択してください	ダウンロードするパッチの言語を選択できます。たとえば、[フランス語] チェックボックスをオンにした場合、フランス語のパッチのみがダウンロードされます。
複数言語の混合	適用可能な更新割り当ての検出タスクごとに、すべての言語を組み合わせることができます (推奨しません)。
SSL	パッチリスト情報の安全なダウンロードをオンまたはオフにできます。推奨する設定は [オン] です。
Cache Patch Bundles to Satellites(パッチバンドルをサテライトにキャッシュする)	パッチバンドルを、プライマリサーバで管理しているサーバまたはワークステーションのキャッシュに入れることができます。
パッチバンドルをプライマリサーバにキャッシュする	パッチバンドルをプライマリサーバのみのキャッシュに入れることができます。

重要：大規模なネットワーク環境を有する顧客は、[Cache Patch Bundles to Satellites(パッチバンドルをサテライトにキャッシュする)] および [パッチバンドルをプライマリサーバにキャッシュする] オプションを選択して、環境内におけるパッチの配布と、毎日の Discover Applicable Update タスクを最適に行ってください。これらのオプションを選択しないと、高度分散 WAN 環境でのこれらのパッチバンドルの配布が非常に遅く、非効率的になることがあります。

企業ネットワーク環境では、通常は複数の ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバをインストールします。これらのサーバの内 1 台のみをパッチのダウンロードに使用できますが、どのプライマリサーバにも、ゾーン内の近接するエージェントに配布するためにパッチバンドルコンテンツのキャッシュがあります。このため、エージェントがバンドルを取得しようとする際、パッチがダウンロードされたプライマリサーバ以外の、近接するプライマリサーバから直接バンドルを取得できます。

また、顧客のネットワーク内にインストールされたサテライトは、バンドルコンテンツのキャッシュとしても機能します。エージェントがサテライトのあるリモート支社にある場合、ここでも同様にして、パッチがダウンロードされたプライマリサーバ以外の、サテライトから直接コンテンツを取得できます。

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

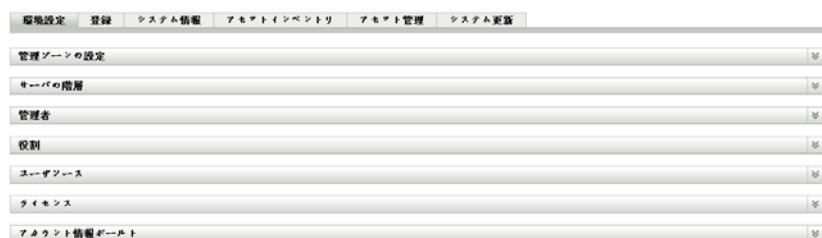
ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	ページに行った変更を保存することができます。
リセット	選択したオプションをリセットすることができます。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

パッチサブスクリプションを使用する際の推奨ベストプラクティスは、次のとおりです。

- 顧客は、不要になったパッチをいつでも無効にできます。これにより、毎日保存されるパッチスキャンデータ量が最小化され、各エンドポイントデバイスをスキャンする時間も短縮されます。
- 必要なパッチのみをキャッシュすることを、強く推奨します。パッチがダウンロードされたプライマリサーバにパッチがキャッシュされると、通常はゾーン内のすべてのプライマリサーバとサテライトにコピーされる必要があります。すべてのパッチをダウンロードすると、ZENworks 10 Configuration Management コンテンツ配布ネットワーク内の容量と帯域幅が浪費されます。

3.4 パッチ管理のライセンス

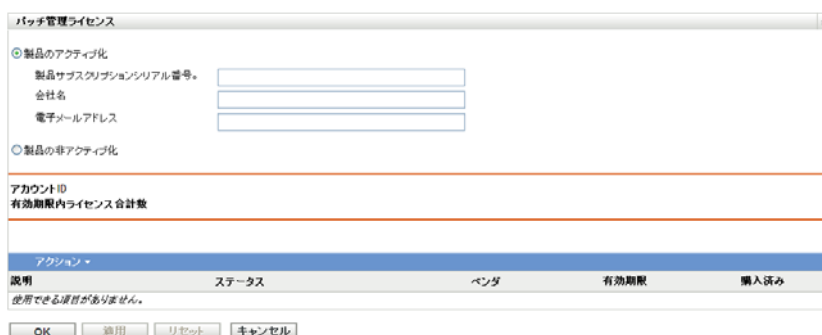
- 1 左のパネルで「環境設定」タブをクリックして、「環境設定」ページを表示します。



- 2 必要に応じて、「ライセンス」セクションを展開します。



- 3 「ZENworks 10 Patch Management」をクリックします。



「パッチ管理ライセンス」ページでは、ZENworks プライマリサーバのパッチ管理サブスクリプションを表示および検証できます。このページでは、購入済みのサブスクリプションのアクティブ化または期限切れの場合の更新も実行でき、パッチ管理アクティビティの一部であるすべてのサブスクリプション要素の概要を示します。この情報は、Patch Management Subscription Service とのレプリケーションごとにアップデートされます。

重要：旧バージョンのパッチ管理からアップグレードする場合は、Patch Management 10.1 サーバのアンインストール後も、既存のパッチ管理サブスクリプションシリアル番号を使用できます。

パッチ管理は 60 日の無料試用期間を設けています。製品を購入していない場合、または 60 日間の無料試用期間内であれば、シリアル番号を入力する必要はありません。

60 日間の無料試用期間終了後、引き続きコントロールセンターのパッチ管理機能を使用するには、次のようにします。

1. パッチ管理用の有効なサブスクリプションシリアル番号と、会社名および電子メールアドレスを入力します。

2. サブスクリプションシリアル番号を再検証します。

以上でライセンスレコードが有効になり、説明、購入日、ベンダー、有効開始日、および有効期限日が表示されるようになります。

シリアル番号を検証し、パッチをダウンロードするための権限を得るには、パッチサブスクリプションがダウンロードされているプライマリサーバからポート 443 (HTTPS) 経由で <https://novell.patchlink.com/update> にアクセスする必要があります。

パッチ管理コンテンツ配布ネットワークは、多くのサーバを配置できるグローバルなキャッシュインフラストラクチャです。このネットワークからパッチをダウンロードするには、ポート 80 (HTTP) 経由で <http://novell.cdn.lumension.com/novell> にアクセスする必要があります。セキュリティ上の理由で、インターネットへの SSL アクセスを許可することも推奨します。[SSL] オプションはデフォルトで有効になっており、安全で信頼できるサイトからパッチのリストをダウンロードします。

最も近いコンテンツ配布ノードのローカル IP アドレスを検出するには、nslookup を使用する必要があります。コンテンツ配布ネットワークは、世界中に 40,000 を超えるキャッシュ配布サーバを配し、さらに各地域に複数の冗長キャッシュサーバを有しています。ファイアウォール経由でアドレス範囲へのアクセスを許可することが重要です。

次の表は、[サブスクリプションシリアル番号] ページの各フィールドについて説明しています。

表 3-1 パッチ管理のライセンス項目

項目	定義
製品のアクティブ化	パッチ管理サービスをアクティブ化します。[パッチ管理] タブはメインパネルに復元され、[パッチ管理] セクションは [環境設定] パネルに復元されます。
製品の非アクティブ化	パッチ管理サービスを非アクティブ化します。[パッチ管理] タブはメインパネルから削除され、[パッチ管理] セクションは [環境設定] ページから削除されます。
製品サブスクリプションシリアル番号	パッチ管理ライセンス番号 (シリアル番号)。
会社名	パッチ管理がサブスクリプションを登録する会社名。
メールアドレス	アラートや今後通知を受信するために使用する電子メールアドレス。
アカウント ID	サーバによって作成されたキー。ZENworks Patch Management Subscription Service に渡され、アップデート要求を検証するために使用されます。
有効期限内ライセンス合計数	アクティブなライセンスの合計数。登録デバイスごとに 1 つのライセンスが必要です。
説明	ライセンスの説明またはライセンスの名前。
ステータス	ライセンス検証のステータス。検証が開始されると、[ステータス] カラムには [初期化の検証] と表示されます。レプリケーションが終了すると、ステータスは [完了] になります。
ベンダー	ライセンスの購入元。

項目	定義
有効期限	ライセンスの期限が切れる日付。一般に、ライセンスの有効期限は購入日から1年です。
購入済み	その製品と共に購入したライセンスの合計数。

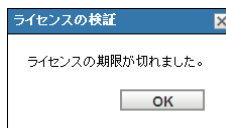
パッチ管理のシリアル番号を入力できるのは1回限りです。シリアル番号を入力したら、[パッチ管理ライセンス] ページの [アクション] ドロップダウンリストをクリックし、[ライセンスの検証] を選択することによって、ライセンスを検証できます。ライセンス検証プロセスを開始するには、[適用] をクリックします。ライセンスの自動検証はレプリケーションプロセスによって毎日実行されます。

図 3-1 [ライセンスの検証] オプション



ライセンスの検証プロセスを開始するには、[適用] をクリックします。

図 3-2 [ライセンスの確認] メッセージボックス



[ライセンスの検証] メッセージボックスは、サブスクリプションライセンスの確認が完了しているか、またはライセンスの有効期限が切れていることを示します。

注：ライセンス検証結果のステータスは、[サブスクリプションサービス情報] ページの [サブスクリプションサービス履歴] パネルで確認できます。検証が開始されると、[ステータス] カラムには [Initializing Verification(初期化の検証)] と表示されます。検証が終了すると、[ステータス] カラムには [完了] と表示されます。[成功] カラムは検証が成功したかどうかを示します。[True] は検証が成功したことを、[False] は検証が完了していないか失敗したことをそれぞれ示します。

次の表は、[サブスクリプションシリアル番号] ページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

表 3-2 [パッチ管理ライセンス] ページのボタン

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	ライセンス検証プロセスを開始できます。
リセット	テキストフィールドに入力したデータをリセットできます。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

[パッチ管理] タブの使用

[パッチ管理] ページは、大部分の Novell® ZENworks® 10 Patch Management アクティビティを実行するページです。このページには、ZENworks サーバに登録されているすべてのシステム全体にわたる全パッチのリストが表示されます。このページには、パッチの名前、説明、影響、および統計情報が表示されます。

次のセクションでは、[パッチ] ページについて詳しく説明します。

- ◆ 29 ページのセクション 4.1 「パッチの表示」
- ◆ 30 ページのセクション 4.2 「Dashboard」
- ◆ 32 ページのセクション 4.3 「ステータス」
- ◆ 33 ページのセクション 4.4 「[パッチ] ページの使用」
- ◆ 42 ページのセクション 4.5 「パッチ管理のレポート」
- ◆ 43 ページのセクション 4.6 「パッチの BOE レポート」

4.1 パッチの表示

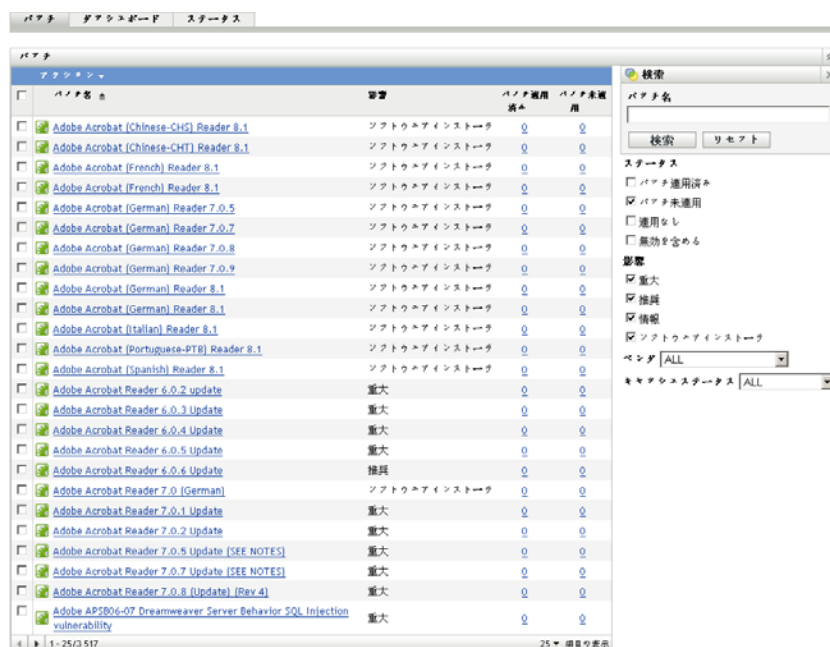
パッチは、パッチが適用されているかどうかを判別するために必要な説明、署名、およびフィンガープリントで構成されます。パッチは、パッチを実行するための関連パッチバンドルでも構成されます。[パッチ] ページには、さまざまなソフトウェアベンダから報告されたすべての既知のパッチのリストが表示されます。パッチが報告および分析されると、ZENworks Patch Subscription Network 経由で ZENworks サーバに配布できるよう登録されます。既知のパッチを確認するには、ZENworks Adaptive Agent を各デバイスにインストールしておく必要があります。既知のパッチをスキャンするため、毎日各デバイスごとに Discover Applicable Updates (DAU) というパッチバンドルが割り当てられ、実行されます。このタスクは結果を返し、その結果が [パッチ] ページに表示されます。結果はパッチステータスの表に表示されます。パッチの合計数は左下角にある表の下に表示されます。

パッチ管理のパッチを参照するには、左パネルの [パッチ管理] タブをクリックします (次の図を参照)。

図 4-1 [パッチ管理] タブ



次の図に示すように、パッチが表示されます。



4.2 Dashboard

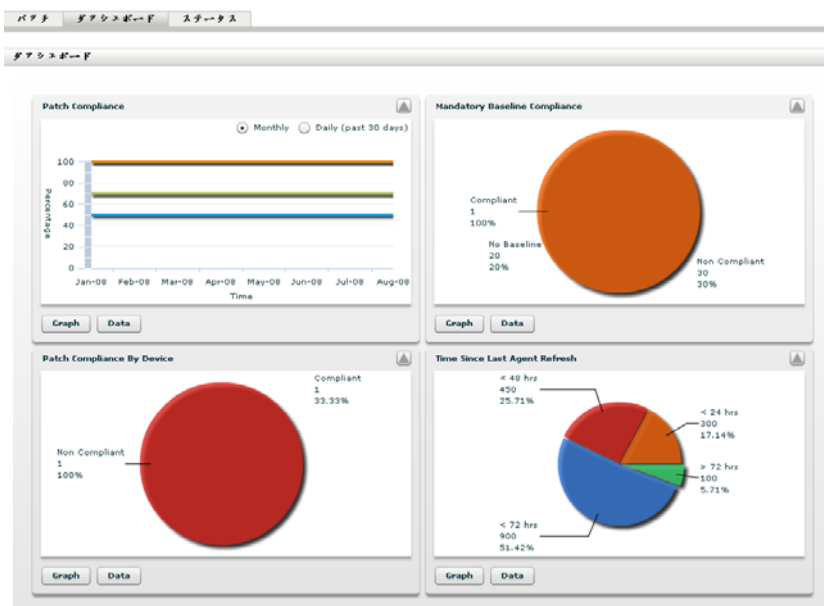
ダッシュボードは、運用、管理、コンプライアンスレポートのニーズに、グラフィカルなダッシュボードと4つの標準レポートで対処します。レポートでは、パッチ、パッチ展開、パッチのステータス、傾向、インベントリなどを、個々のマシンまたは集約レベルで文書化します。これによって、内部および外部監査、およびコンプライアンス要件への進捗を示す一元化したビューが得られます。ダッシュボードは、[パッチ管理] タブの [アクション] メニューで [ダッシュボードレポートの更新] をクリックして、更新できます。

ダッシュボードレポートインテグレーションスレッドは、所定の日付に実際にパッチを適用された有効なパッチの全体的な割合に関して、毎日統計を取得します。初回ダッシュボードレポートを生成するには、少なくとも24時間かかります。

注: パッチ管理を効果的に使用するには、環境に関係のないパッチを無効にして、毎日のコンプライアンス統計がデバイスのネットワーク関係パッチのみを基準にするようにし、実際に特定の日にパッチされた有効なパッチの割合を取得します。

次は、[ダッシュボード] ページの図です。

図 4-2 [ダッシュボード] ページ



- ◆ **パッチコンプライアンス:** それぞれのパッチ影響カテゴリに対する全体的なコンプライアンスの、毎月/毎日の傾向を表示します。

パッチ管理ベストプラクティスでは、常にコンプライアンス状況を監視し、意図したパッチの定期的な展開やパッチ管理ソリューションの正しい使用が、確実に行われるようにすることを推奨します。トレンドラインにマウスオーバーすると、影響カテゴリ (重大、ソフトウェア、またはオプション) について実際に計算された割合が表示されます。個々のパッチについてのパッチ適用済み/未適用の合計の詳細情報は、[パッチ管理] の [パッチ] タブに表示されます。

- ◆ **月/毎日:** コンプライアンストレンドデータの期間。
- ◆ **重大のパッチ適用済み:** パッチが適用された重大なパッチの割合。
- ◆ **オプションのパッチ適用済み:** パッチが適用された推奨および情報パッチの割合。
- ◆ **ソフトウェアのパッチ適用済み:** パッチが適用されたソフトウェアパッチの割合。
- ◆ **強制的なベースラインコンプライアンス:** 現在強制的なベースラインコンプライアンスにあるデバイスグループの割合を表示します。

強制的なベースラインポリシーを確立すると、管理者はパッチをデバイスグループに迅速かつ容易に自動展開でき、新しいコンピュータを購入または再イメージしたときに既知の脆弱性が返されないようにすることができます。各グループは、そのグループの有効化された全ベースラインパッチが、すべてのグループメンバーデバイスに対して現在パッチ適用済みのステータスである場合に限り、強制的なベースラインコンプライアンスとして評価されます。

- ◆ **ステータス:** 適合、不適合、またはベースラインなし
- ◆ **グループ数:** 各状態のグループ数

- ◆ **デバイス別パッチコンプライアンス**: パッチ管理が監視しているデバイスの全体的なパッチコンプライアンスを表示します。

各デバイスは、パッチ管理内で現在使用できるアクティブな全パッチについてパッチ適用済みのステータスの場合のみ、コンプライアンスとして評価されます。適用されないパッチはパッチ管理内では常に無効にしておきます。これにより、この目トリックをデバイスの管理対象ネットワークの関連パッチについてのみ追跡できます。



- ◆ **ステータス**: 適合または不適合
- ◆ **デバイス数**: 各状態のデバイス総数
- ◆ **Time Since Last Agent Scan(最終エージェントスキャン以降の時間)**: ネットワーク内のすべての管理対象デバイスについて、最終更新サイクル以降の経過時間を表示します。

パッチ管理システム内部では、不足したパッチがないか、すべてのデバイスを定期的にスキャンすることが重要です。定期的な毎日の更新サイクルでも、当日にオフラインになっているラップトップやワークステーションがあることがあります。

- ◆ **経過時間**: 24 時間未満、48 時間未満、72 時間未満
- ◆ **デバイス数**: 各カテゴリのデバイス総数

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

ボタン名	アクション
グラフ	グラフで詳細を表示します。
データ	データテーブルで詳細を表示します。
ズームコントロール	1つのグラフをページいっぱい拡大したり、元の大きさに戻したりします。

 ボタンをクリックすると、対応するグラフが全画面モードになります。 ボタンをクリックすると、グラフは元のサイズに戻ります。

4.3 ステータス

このページは、パッチとバンドルのダウンロードステータスをテーブルで示し、パッチのキャッシングとキューイングのステータスの状態も示します。

- ◆ [32 ページのセクション 4.3.1 「ステータス」](#)
- ◆ [33 ページのセクション 4.3.2 「キャッシュステータス」](#)

4.3.1 ステータス

表 4-1 ステータステーブルの項目

項目名	項目ステータス
署名のダウンロード	署名のダウンロードが終了したのか、進行中なのかを示します。
署名の最終ダウンロード時刻	ローカルサーバがパッチサブスクリプションサーバから署名に接続してダウンロードした最終時刻を示します。

項目名	項目ステータス
バンドルダウンロード	パッチバンドルのダウンロードが完了したか、進行中なのかを示します。
パッチの最終ダウンロード	ローカルサーバがパッチサブスクリプションサーバからパッチに接続してダウンロードした最終時刻を示します。
失敗したダウンロード数	パッチサブスクリプションサーバからダウンロードに失敗したパッチ数を示します。
キャッシュにキューイングされたパッチ数	パッチサブスクリプションサーバからキューに入れられたパッチ数を示します。
アクティブなパッチの数	使用可能な、パッチサブスクリプションサーバからダウンロードできるパッチ数を示します。
新規パッチ数 (30 日以内)	アップロードされ、パッチサブスクリプションサーバから 30 日以内にダウンロードできるパッチ数を示します。
最新パッチのリリース日	最終パッチがリリースされた時刻を示します。

4.3.2 キャッシュステータス

表 4-2 キャッシュステータステーブルのカラム見出し

項目	定義
名前	パッチの名前。
ステータス	パッチが正常にダウンロードされたかどうかを示します。
エラー詳細 (存在する場合)	エラーの詳細。

4.4 [パッチ] ページの使用

次のセクションでは、[パッチ] ページについて詳しく説明します。

- ◆ [33 ページのセクション 4.4.1 「パッチ」](#)
- ◆ [38 ページのセクション 4.4.2 「パッチ情報」](#)
- ◆ [39 ページのセクション 4.4.3 「パッチの検索」](#)
- ◆ [41 ページのセクション 4.4.4 「パッチ管理」](#)

4.4.1 パッチ

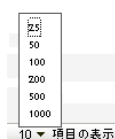
[パッチ] ページのこのセクションでは、パッチに関する次の情報が提供されます。

- ◆ パッチの名前
- ◆ 利用可能なパッチの合計数
- ◆ パッチの影響
- ◆ パッチの統計情報

このセクションには [アクション] メニューがあり、[改善の展開]、[有効]、[無効]、および [更新キャッシュ] という、パッチに関連する 4 つのアクションを実行できます。これらのアクションの詳細については、37 ページの「[アクション] メニュー項目」を参照してください。

このセクションには [項目の表示] ドロップダウンリストもあり、次の図に示すように、このセクションに表示する項目の数を選択することができます。

図 4-3 [項目の表示] ドロップダウンリスト



次のセクションでは、[パッチ] ページについて詳しく説明します。

- ◆ 34 ページの「パッチ名」
- ◆ 35 ページの「利用可能なパッチの合計数」
- ◆ 35 ページの「パッチの影響」
- ◆ 36 ページの「パッチの統計情報」
- ◆ 37 ページの「[アクション] メニュー項目」

パッチ名

これはパッチを識別する名前です。この名前には一般的にパッチのベンダまたはメーカー、特定のアプリケーション、およびバージョン情報が含まれます。

パッチ名の例を次に示します。Adobe はベンダで、Acrobat Reader はアプリケーション、6.0.6 はバージョン情報であることを示します。

図 4-4 パッチ名の例

Adobe Acrobat Reader 6.0.6 Update

- ◆ Microsoft* セキュリティパッチにはすべて MS0x-yyy という形式でマイクロソフトセキュリティ情報番号のタイトルが付いています。0x はパッチがリリースされた年、yyy はリリースされたパッチの通し番号を示します。これらのパッチは非常に重大で、できる限り早くインストールする必要があります。
- ◆ Microsoft のセキュリティ以外のパッチ名にはすべてサポート技術情報(KB)の記事番号が付いています。これらのパッチをインストールするかどうかはユーザが判断してかまいません。
- ◆ Microsoft サービスパックおよびサードパーティのパッチには通常 KB 番号は付いていません。また、マイクロソフトセキュリティ情報番号もありません。これらのサービスパックは、期待通りの結果が得られるかどうか十分にテストしてください。

パッチの命名規則の詳細については、パッチおよび公開されているその他の情報の標準化された名前のリスト [Comprehensive Patches and Exposures \(CVE\) \(http://cve.mitre.org/\)](http://cve.mitre.org/) を参照してください。その他に役立つリソースとしては、[National Patch Database \(http://nvd.nist.gov/\)](http://nvd.nist.gov/) があります。これは米国政府による標準ベースのパッチ管理データのリポジトリです。

利用可能なパッチの合計数

展開可能なパッチの合計数が表の左下角に表示されます。次の図では、利用可能なパッチの合計数は 979 です。

図 4-5 [項目の表示] ドロップダウンリスト

1 - 10/979

パッチの影響

パッチのリリース日に基づいて定義されたパッチのタイプ。タイプは「重大」、「推奨」、「情報」または「ソフトウェアインストーラ」のいずれかになります。それぞれの影響は次のようになります。

- ◆ **重大**：このタイプのパッチは Novell によって重大と判断されているため、できる限り早急にインストールしてください。最近のセキュリティアップデートのほとんどはこのカテゴリに分類されます。ZENworks サーバは、重大な影響を持つパッチを自動的にダウンロードして保存します。
- ◆ **推奨**：このパッチは、重大またはセキュリティ関連ではないものの、役立つものであり、コンピュータの良好な状態を保つために適用すべきと Novell によって判断されています。このカテゴリに分類されるパッチをインストールしてください。
- ◆ **ソフトウェアインストーラ**：このタイプのパッチはソフトウェアアプリケーションです。一般に、ソフトウェアインストーラが含まれます。アプリケーションがマシンにインストールされていない場合には、パッチには [パッチ未適用] と表示されます。
- ◆ **情報**：このタイプのパッチは、Novell によって情報と判断された状態を検出します。情報パッチは、情報目的にのみ使用されます。インストールする実際のパッチはありません。

パッチ管理では、パッチサブスクリプションの影響に関する用語は、パッチの重大度を示すためにベンダーが使用している影響に関する用語に厳密に従っています。各オペレーティングシステムにはベンダー固有の影響度評価があり、その影響度は、このセクションで説明している Novell の評価に対応しています。パッチ管理では、Lumension* Security の勧告に従って、影響度評価の重大度を増加またはステップアップさせています。たとえば、Microsoft の分類で「重大」、「重要」、「中」とされているパッチは、Novell ではすべて「重大」に分類されます。

次の表は、Novell と Microsoft のパッチ分類用語の一覧について説明しています。

表 4-3 Novell と Microsoft のパッチ影響度の対応

Novell パッチ影響度	Windows	その他
重大	重大なセキュリティ	NA
	重要	
	中	

Novell パッチ影響度	Windows	その他
推奨	推奨 低 例 :Microsoft Outlook 2003 迷惑メール フィルタアップデート	NA
ソフトウェアインス トローラ	ソフトウェア配布 例 :Microsoft Windows 悪意のあるソフ トウェアの削除ツール (ウィルス駆除)	Adobe® 8.1 ソフトウェアインストー ラ
情報	NA	NA

ソース :Lumension Security

パッチの統計情報

パッチ統計情報は、ZENworks サーバ内にあって特定のステータスに合致するデバイス (またはグループ) の合計数と、特定のパッチの間の関係を示します。パッチ統計情報は [パッチ] ページの右端にある 2 つのカラムに表示されます。各カラムのステータスは次の内容を示します。

- ◆ **パッチ適用済み** : 対応するパッチが適用済みか、またはパッチが適用済みのデバイスの合計数を示すリンクが表示されます。




このリンクをクリックすると、パッチ適用済みのデバイスが一覧にされます。パッチをアンインストールするには、[アクション] メニューの [削除] オプションを使用します。

- ◆ **パッチなし** : 対応するパッチが適用されていないか、またはパッチが適用されていないデバイスの合計数を示すリンクが表示されます。




このリンクをクリックすると、これらのデバイスが一覧にされます。これらのデバイスにパッチを展開するには、[アクション] メニューの [改善の展開] オプションを使用します。

[パッチ] ページに表示されるパッチは、異なるアイコンを持ち、現在のステータスを表します。次のテーブルは、各パッチのアイコンを示しています。

表 4-4 パッチアイコン

パッチアイコン	意義
	無効になっているパッチを示します。 無効になっているパッチのアイコンは、デフォルトで非表示になっています。これらの項目を表示するには、[検索] パネルの [無効を含める] フィルタを使用します。
	ZENworks Patch Subscription Network からパッチのフィンガープリント情報だけが取得されていることを示します。このアイコンはキャッシュされていないパッチを表します。
	選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理が保留中になっていることを示します。

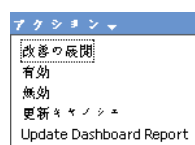
パッチアイコン	意義
---------	----

	選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理が開始されたことを示します。このプロセスにより、該当するバンドルがZENworks サーバにキャッシュされます。
	パッチをアドレス指定するために必要なフィンガープリントおよび改善パッチバンドルがシステムにキャッシュされていることを示します。このアイコンはキャッシュされ、展開の準備ができていないパッチを表します。
	選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理中にエラーが発生したことを示します。

注： 選択したパッチの改善バンドルがキャッシュされていない場合、キャッシュダウンロードが完了するまで展開プロセスに失敗する可能性があります。パッチサブスクリプションからファイルをダウンロードし、ZENworks 10 Configuration Management でパッケージ化する必要があります。すると、アイコンが青色に変わります。これらのパッケージのダウンロードをすぐに開始するには、[アクション] メニューから [更新キャッシュ] を選択します。

[アクション] メニュー項目



[パッチ] セクションには [アクション] メニューがあり、ページに一覧にされているパッチに対し、4つのアクションのうち1つを実行できます。次の図は、[アクション] メニューの5つのオプションを示しています。



[アクション] メニューは、次の4つのオプションで構成されています。

- ◆ **改善の展開：**パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開する必要があるパッチのチェックボックスをオンにして、[アクション] メニューオプションから [改善の展開] を選択し、[改善の展開] ウィザードを開きます。詳細については、[45 ページの第5章「改善の展開ウィザードの使用」](#)を参照してください。
- ◆ **有効：**無効になっているパッチを有効にすることができます。
- ◆ **無効：**パッチを無効にすることができます。このオプションを使用するには、必要なパッチのチェックボックスをオンにして [無効] を選択します。選択したパッチがリストから削除されます。
パッチを無効にすると、関連付けられているバンドルもすべて無効になります。
- ◆ **更新キャッシュ：**選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して、それらのバンドルを ZENworks サーバにキャッシュします。
ターゲットデバイスにバンドルをインストールする前に、改善パッチバンドルをキャッシュしておく必要があります。
このオプションを使用する
 - ◆ [パッチ] リストから1つまたは複数のパッチを選択します。

- ◆ [アクション] メニューで [更新キャッシュ] をクリックします。

パッチアイコンがに変わります。ダウンロード処理中、アイコンはに変わります。キャッシングが完了すると、パッチアイコンの色が緑に変わります。これはパッチの改善の展開準備が整っていることを示します。

パッチはアルファベット順に昇順または降順でソートすることができます。ソートするには、次に示すように、カラム見出し [パッチ名] 内の矢印をクリックします。

図 4-6 [パッチ名] カラム



- ◆ **ダッシュボードレポートの更新**：ダッシュボードレポートを最新の統計で更新できます。

注：パッチのダウンロード日時を確認するには、[バンドル] セクションでそのパッチの [メッセージログ] パネルを表示します。

4.4.2 パッチ情報

選択したパッチの詳細情報は、[パッチ情報] セクションで参照することができます。パッチの名前をクリックすると、そのパッチの詳細が表示されます。

たとえば、パッチリストから [Windows Malicious Software Removal Tool- February 2009 (KB890830)] というパッチを選択した場合、[パッチ情報] セクションには、次の図に示すように、選択したパッチのパッチ分析結果が表示されます。

図 4-7 選択したパッチのパッチ情報



次の表は、[パッチ情報] セクションの各プロパティ名を定義しています。

表 4-5 [パッチ情報] セクション内のプロパティ名

プロパティ名	定義
名前	パッチの名前。
影響	Novell が判断したパッチの影響度。詳細については、 35 ページの「パッチの影響」 を参照してください。
ステータス	パッチのステータスで、[有効]、[無効(置き換え済み)]、[無効(ユーザ別)]があります。
ベンダ名	ベンダーまたはメーカーの名前。
リリース日	ベンダーがパッチをリリースした日付。
ベンダ製品 ID	ベンダーが製品に割り当てた ID 番号。
説明	パッチの説明。パッチの展開の利点と展開の事前必要条件を含みます。
再起動が必要	パッチ展開の後、再起動が必要かどうかを示します。
アンインストールをサポート	インストール後にパッチのアンインストールがサポートされているかどうかを示します。

4.4.3 パッチの検索

[パッチ] ページの [検索] セクションには、広範な検索およびデータフィルタリングオプションが用意されており、特定のパッチを検索して、パッチの「ステータス」や「影響」に基づいて結果セットをフィルタすることができます。検索とフィルタリングはそれぞれ独立して実行することもできますが、組み合わせて拡張ドリルダウン機能を実行することもできます。次の図は、[検索] セクションを示しています。

図 4-8 [パッチ] ページの [検索] セクション

The screenshot shows a web interface for searching patches. At the top is a search box labeled 'パッチ名' (Patch Name) with a magnifying glass icon and a '検索' (Search) button. Below the search box are two buttons: '検索' (Search) and 'リセット' (Reset). Underneath are filter sections. The 'ステータス' (Status) section has four checkboxes: 'パッチ適用済み' (Patch Applied), 'パッチ未適用' (Patch Not Applied), '適用なし' (No Application), and '無効を含める' (Include Invalid). The '影響' (Impact) section has four checkboxes: '重大' (Critical), '推奨' (Recommended), '情報' (Information), and 'ソフトウェアインストール' (Software Installation). The 'ベンダ' (Vendor) section has a dropdown menu currently set to 'ALL'. At the bottom, there is another dropdown menu labeled '検索ステータス' (Search Status) also set to 'ALL'.

パッチを検索するには、次の手順に従います。

- 1 [パッチ名] テキストボックスにパッチ名のすべてまたは一部を入力します。
- 2 [ステータス] または [影響] の下にある目的のチェックボックスをオンにします。
- 3 [ベンダ] ドロップダウンリストで、ベンダを選択します。

- 4 [キャッシュステータス] ドロップダウンリストでキャッシュステータスを選択します。
- 5 [検索] をクリックします。

注: [リセット] をクリックしてデフォルトの設定に戻します。

次の表は、[ステータス] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 4-6 [検索] の「ステータス」フィルタ

「ステータス」フィルタ	結果
パッチ適用済み	検索結果のパッチリストには、1 つまたは複数のデバイスに適用されているすべてのパッチが含まれます。
パッチなし	検索結果のパッチリストには、どのデバイスにも適用されていないすべてのパッチが含まれます。
適用なし	検索結果のパッチリストには、デバイスに適用されないすべてのパッチが含まれます。
無効を含める	検索結果のパッチリストには、管理者によって無効にされているすべてのパッチが含まれます。

次の表は、[影響] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 4-7 [検索] の「影響」フィルタ

影響フィルタ	結果
重大	検索結果のパッチリストには、Novell によって「重大」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
推奨	検索結果のパッチリストには、Novell によって「推奨」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
情報	検索結果のパッチリストには、Novell によって「情報」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
ソフトウェアインストーラ	検索結果のパッチリストには、Novell によって「ソフトウェアインストーラ」と分類されたすべてのパッチが含まれます。

表 4-8 検索でのベンダフィルタと、キャッシュステータスフィルタ

フィルタ	結果
ベンダ	検索結果には、パッチリスト内のベンダに関連しているすべてのパッチが含まれます。
キャッシュステータス	検索結果は、パッチがローカルサーバにキャッシュされているかどうかを示します。

4.4.4 パッチ管理

次のセクションでは、[パッチタスク] ペインのさまざまなオプションについて詳しく説明します。

- ◆ 41 ページの「改善の展開」
- ◆ 41 ページの「パッチのエクスポート」
- ◆ 42 ページの「パッチの表示」

改善の展開

このオプションを使用すると、パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開するパッチのチェックボックスをオンにして、[改善の展開] リンクをクリックし、[改善の展開] ウィザードを開きます。詳細については、45 ページの第 5 章「改善の展開ウィザードの使用」を参照してください。

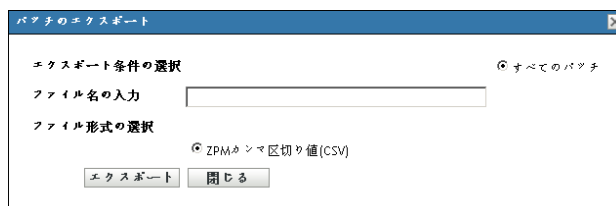
パッチのエクスポート

すべてのパッチのステータスや影響などの詳細をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。ファイルをダウンロードオプションから開いて、別のファイル形式でファイルを保存するよう選択することができます。

- 1 左ペインで [パッチのエクスポート] リンクをクリックします。

この操作を実行すると、選択した結果だけでなく、すべてのデータの結果がエクスポートされます。ただし、データによっては、読み込み可能な形式の .csv 形式にエクスポートまたは変換できないことがあります。

- 2 [パッチのエクスポート] ダイアログボックスで、[エクスポート] をクリックします。



- 3 [ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで、使用可能なオプションを選択します。

- ◆ **開く** : ファイルを作成して Web ブラウザで開きます。ブラウザから CSV、XML、テキストや各種のスプレッドシートアプリケーション形式のファイルを保存できます。
- ◆ **保存** : ファイルを作成し、ローカルフォルダに保存します。ファイルは、Microsoft Office Excel CSV 形式で保存されます。ファイルはデフォルトでは ZPMPatchesList.csv という名前になります。

- ◆ **キャンセル**：レポートは作成または保存されません。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	# 総マシナリ・総マシナリ	間・シマア・マシナリ・マシナリ・マシナリ・マシナリ・マシナリ・マシナリ・マシナリ・マシナリ						
2	総マシナリ・マシナリ・Business	マシナリ	0	0	1	null		
3	総マシナリ・マシナリ・Expression	マシナリ	0	0	7	null		
4	総マシナリ・マシナリ・MS03-033	マシナリ	0	0	1	null		
5	マシナリ・マシナリ	MS04-013 Cumulati	マシナリ	0	0	1	null	
6	マシナリ・マシナリ	MS04-013 Cumulati	マシナリ	0	0	1	null	
7	マシナリ・マシナリ	MS04-013 Cumulati	マシナリ	0	0	1	null	
8	総マシナリ・マシナリ・MS04-016	マシナリ	0	0	1	null		
9	総マシナリ・マシナリ・MS04-016	マシナリ	0	0	11	null		
10	総マシナリ・マシナリ・MS04-016	マシナリ	0	0	1	null		
11	総マシナリ・マシナリ・MS04-016	マシナリ	0	0	11	null		
12	総マシナリ・マシナリ・MS04-016	マシナリ	0	0	1	null		
13	総マシナリ・マシナリ・MS04-016	マシナリ	0	0	11	null		
14	マシナリ・マシナリ	MS04-018 Cumulati	マシナリ	0	0	1	null	
15	総マシナリ・マシナリ・MS04-018	マシナリ	0	0	15	null		
16	マシナリ・マシナリ	MS04-018 Cumulati	マシナリ	0	0	1	null	
17	総マシナリ・マシナリ・MS04-027	マシナリ	0	0	19	null		
18	マシナリ・マシナリ	MS04-028 Security	マシナリ	0	0	15	null	
19	総マシナリ・マシナリ・MS04-028	マシナリ	0	0	6	null		
20	マシナリ・マシナリ	MS05-004 Security	マシナリ	0	0	1	null	
21	マシナリ・マシナリ	MS05-004 Security	マシナリ	0	0	1	null	
22	マシナリ・マシナリ	MS05-004 Security	マシナリ	0	0	1	null	

パッチの表示

パッチを選択し、[パッチの表示] リンクをクリックすると、そのパッチの詳細が示されたページが表示されます。このページには次の3つのタブがあります。

- ◆ **パッチ適用済み**：このパッチでパッチが適用されたデバイスを表示します。
- ◆ **パッチなし**：このパッチでパッチが適用されていないデバイスをすべて表示します。
- ◆ **情報**：このパッチの詳細情報を表示します。

4.5 パッチ管理のレポート

パッチ管理用には、次の事前定義されたレポートが付属しています。

- ◆ **強制的なベースライン詳細**：選択した強制的なベースライン内にあるパッチに対して、該当するデバイス名とパッチステータスを表示します。このレポートは、現環境における必須パッチのコンプライアンスレベルを監視および連絡する際にも役立ちます。
- ◆ **強制的なベースライン概要**：パッチに対して、該当するデバイス名とパッチステータスを表示します。さらに、重大度、およびパッチ適用済みデバイスとパッチ未適用デバイスの割合も表示します。
- ◆ **脆弱性分析**：企業内で該当するパッチの重大度レベルを表示します。さらに、パッチ該当デバイスの数と、パッチ適用済みデバイスの割合も表示します。このレポートは、一定レベルのパッチ適用作業が必要な、さまざまなコンプライアンス事項へのコンプライアンス状態を表示する際に役立つよう設計されています。

Linux サーバでは、脆弱性分析および強制的なベースライン概要レポートにはレポートにデータがあっても空白の列が出力されます。データを表示するには、レポートを変更して、テキストの色を **Formatting(書式設定)** ツールバーで黒に設定して、レポートを保存します。これは1回だけ実行する必要があります。

4.6 パッチの BOE レポート

Business Objects Enterprise (BOE) レポートは、ZENworks Reporting Services (ZRS) を ZENworks 10 Configuration Management にインストールしたユーザのみが利用できます。

- ◆ **Patch Assessment Report(パッチ評価レポート)**: ベンダがリリースしたパッチ数、パッチ適用済み、未適用、適用なしデバイスの数を示します。
- ◆ **Patch Release Report(パッチリリースレポート)**: ベンダがリリースしたパッチ数を示します。詳細セクションには、パッチ名とパッチが適用された割合が、影響とベンダ別に示されます。
- ◆ **Top 10 Not Patched Critical Patches(パッチ未適用の重要パッチ上位 10)**: 最高レベルのパッチ未適用のデバイスを持つパッチを示します。
- ◆ **Patch Bundle Assignment Summary(パッチバンドル割り当て概要)**
 - ◆ **概要レポート**: パッチ適用済み、未適用、適用なし、およびパッチ割合を、バンドル名およびパッチ名別に示します。
 - ◆ **詳細レポート**: デバイス、デバイスパッチのステータス、展開状態をバンドルおよびパッチ別に示します。
- ◆ **パッチ分析**
 - ◆ **ダッシュボード**: 選択した展開ステータスおよび影響について、ベンダ別にパッチステータスを示します。
 - ◆ **[詳細] ページ**: パッチ名、リリース日、影響、展開状態、パッチステータスを示します。
- ◆ **Patch Detail Report(パッチ詳細レポート)**: 選択したベンダ、パッチ、影響、パッチステータスのデバイスおよびパッチステータスを示します。

改善の展開ウィザードの使用

改善の展開ウィザードは、複数の受信者やデバイス用にパッチ展開スケジュールを作成または編集するためのインタフェースを提供します。このウィザードを使用すると、デバイスの選択、パッチの展開のスケジュール、および設定の繰り返し（必要な場合）を簡単に行うことができます。[改善の展開ウィザード] には、[デバイス] タブまたは [パッチ管理] タブからアクセスできます。

改善の展開ウィザードで複数のパッチを選択すると、ウィザードは自動的にすべての該当するデバイスとパッケージを選択します。デバイスが選択された場合は、ウィザードは自動的にそのデバイスに適用するすべてのパッチを選択します。グループを選択した場合は、その特定のグループのデバイスに適用可能なすべてのパッチが含まれます。

次のセクションでは、ウィザードの各ステップについて詳しく説明します。

- ◆ 45 ページのセクション 5.1 「展開スケジュールの作成」
- ◆ 46 ページのセクション 5.2 「デバイスの確認」
- ◆ 47 ページのセクション 5.3 「使用許諾契約」
- ◆ 48 ページのセクション 5.4 「改善スケジュール」
- ◆ 56 ページのセクション 5.5 「改善オプション」
- ◆ 57 ページのセクション 5.6 「詳細修正オプション」
- ◆ 60 ページのセクション 5.7 「展開順序および動作」
- ◆ 61 ページのセクション 5.8 「インストール前の通知オプション」
- ◆ 63 ページのセクション 5.9 「通知および再起動オプション」
- ◆ 65 ページのセクション 5.10 「展開概要」

5.1 展開スケジュールの作成

1 つまたは複数のデバイスに対するパッチの展開スケジュールを作成するには、次の操作を行います。

- 1 [パッチ管理] タブをクリックして、1 つまたは複数のデバイスに展開するパッチを選択します。
- 2 次の図に示すように、[パッチ] ページの [アクション] メニューから [改善の展開] を選択します。または、[パッチ] ページ左側にある [パッチ管理] ペインの [改善の展開] リンクをクリックすることもできます。



5.2 デバイスの確認

[デバイスの確認] ページでは、展開をスケジュールする必要があるデバイスを選択して確認することができます。選択したパッチに対して展開をスケジュールする最初のステップとして、デバイスの確認を行います。

図 5-1 [デバイスの確認] ページ

デバイス名	ステータス	プラットフォーム	DNS	IP アドレス
tw-270xpsp2	オンライン	Windows	W2AdxPsp2	172.22.3.16
n112-tcxp-ok	オンライン	Windows	zpmS2k3Ssp1.zpmzly.com	172.22.1.35

次の表は、[デバイスの確認] ページのカラム見出しについて説明しています。

表 5-1 [デバイスの確認] ページのカラム見出し

カラム見出し	説明
デバイス名	Novell® ZENworks® 10 Patch Management に登録されているデバイスの名前 (パッチの展開先)。
ステータス	デバイスのステータス。ステータスはオフラインまたはオンラインになります。
プラットフォーム	デバイスのオペレーティング システム。
DNS	DNS サーバの名前。
IP アドレス	デバイスの IP アドレス。

このページには、選択したパッチが展開されるデバイスの合計数が表示されます。次の例では、デバイスの合計数は 2 です。

図 5-2 デバイスの合計数

1 - 2/2

[項目の表示] ドロップダウンリストを使用して、ページに表示する項目の合計数を選択できます。

図 5-3 項目の表示

10 ▼ 項目の表示

- 25
- 50
- 100
- 200
- 500
- 1000

デフォルトでは、すべてのデバイスが展開用に選択されています。パッチを展開する必要のないデバイスの選択を解除し、[次へ] ボタンをクリックして [使用許諾書] ページを開きます。

5.3 使用許諾契約

[使用許諾書] ページは、選択したパッチに関連付けられているすべてのサードパーティライセンス情報を表示します。選択したパッチに対して展開をスケジュールする 2 番目のステップとして、パッチの使用許諾書を受諾または拒否します。

図 5-4 [使用許諾契約] ページ

必要ライセンスリスト	受諾する	拒否
Windows Malicious Software Removal Tool - May 2009 (KB890830)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

使用許諾書

<< 戻る 次>> キャンセル

受諾する使用許諾契約に対して [受諾する] を選択します。使用許諾契約の詳細を表示するには、パッチの名前をクリックします。

注: 展開ウィザードで続行する前に、すべての使用許諾契約を受諾する必要があります。

[次へ] ボタンをクリックして [改善スケジュール] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.4 改善スケジュール

「修正スケジュール」ページでは、選択したデバイスに対する改善の展開スケジュールおよび方法を選択することができます。選択したパッチに対する展開スケジュールの3番目のステップとして、選択したパッチに対してさまざまな展開オプションを設定します。

図 5-5 「改善スケジュール」ページ

パッチ

ステップ 3: 修正スケジュール

選択したデバイスへの改善の展開スケジュール

スケジュールタイプ:

繰り返し
日付特有
繰り返し
イベント

☐ リフレッシュ後に実行を延期: 0

修正スケジュールの設定を開始するには、スケジュールタイプを選択する必要があります。パッチ管理では、実際にいつパッチをターゲットデバイスに適用するかを決定するためのスケジュールタイプが3つ用意されています。

- 「日付特有」を選択すると、選択したデバイスへの展開は、選択した日付に従ってスケジュールされます。
- 「繰り返し」を選択すると、選択した日付の選択した時間に展開が開始され、展開が毎日/毎週/毎月繰り返され、終了日が定義されていれば特定の日付で終了します。
- 「イベント」を選択すると、特定のイベント（イベントリストから選択）が発生したときに、スケジュールされた展開が開始されます。

ヒント: ただちにパッチをインストールするには、「繰り返し」スケジュールタイプを選択し、「デバイスの更新時」オプションを選択します。これにより、次のデバイス更新スケジュール中にパッチが強制的にインストールされます。このオプションは通常、パッチをテストする場合に使用します。デバイスのグループの改善の場合は、「日付特有」スケジュールタイプを選択します。

デフォルトでは、デバイスの更新スケジュールは1日2回に設定されています。テストやデモンストレーションが目的の場合は、頻度を5～15分に1回に増やすことができます。

次のセクションでは、スケジュールタイプについて詳しく説明します。

- 49 ページのセクション 5.4.1 「展開スケジュール: 日付特有」
- 50 ページのセクション 5.4.2 「改善スケジュール: 繰り返し」
- 55 ページのセクション 5.4.3 「改善スケジュール: イベント」

5.4.1 展開スケジュール：日付特有

[日付特有] を選択すると、次の図に示すように、[改善スケジュール] ページが表示されます。

図 5-6 [日付特有] スケジュールタイプの [改善スケジュール] ページ

バッチ

ステップ 3: 修正 スケジュール

選択したデバイスへの改善の展開スケジュールを選択してください

スケジュールタイプ:
日付特有

開始日: *

☐ 毎年イベントを実行
☐ デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

スケジュールの実行が開始される時間を選択:

☒ 開始時刻にすぐに実行
☐ 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

開始時刻: 1 : 00 終了時刻: 1 : 00

☐ 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 10:10)

<< 戻る 次 >> キャンセル

このページでは、次の展開オプションを設定できます。

- ◆ **開始日** : 展開を開始する必要がある日付を選択できます。選択するには、 アイコンをクリックしてカレンダーを開き日付を選択します。選択した日付を削除するには、 アイコンをクリックします。
- ◆ **毎年イベントを実行** : 展開が選択した日の選択した時刻に開始し、毎年繰り返されるようにします。定義した場合、特定の日付で終了します。
- ◆ **デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する** : デバイスが選択したスケジュールで実行できなかった場合、展開を即座に開始するようにします。
- ◆ **スケジュールの実行が開始される時間を選択** : スケジュール実行の開始時刻を選択するには、次の2つのオプションがあります。
 - ◆ **開始時刻にすぐに実行** : [終了時刻] パネルを非アクティブにして、指定した開始時刻で展開を開始します。このオプションでは、[開始時刻] パネルで開始時刻を設定する必要があります。

開始時刻: 1 : 00

- ◆ **開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始**：[開始時刻] パネルの隣の [終了時刻] パネルをアクティブ化します。開始時刻と終了時刻を、展開がその間の時刻でランダムに開始するように指定することができます。[終了時刻] パネルの表示は次のようになります。

終了時刻: 1 : 00

いずれの時刻パネルでも、最初のドロップダウンリストで時間を選択できます。2 番目のドロップダウンリストでは分を、3 番目のドロップダウンリストでは午前または午後を選択できます。

[協定世界時(UTC)を使用] チェックボックスをオンにすると、タイムゾーンの違いにかかわらず、すべてのデバイスの展開を同時にスケジュールできます。協定世界時(UTC) (世界時間)、Z 時間またはズールー時間は、ローカルタイムゾーンに依存しない標準時間値です。UTC をオフにすると、配布はローカル時間でスケジュールされます。

5.4.2 改善スケジュール：繰り返し

[繰り返し] を選択すると、次の図に示すように、[改善スケジュール] ページが表示されます。

図 5-7 [繰り返し] スケジュールタイプの [改善スケジュール] ページ

スケジュールタイプ:
繰り返し

○ **デバイスの更新時**

☐ リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

○ **曜日**

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

○ **月**

○ 日付: 1

○ 月の最終日

○ 最初 : 日曜日

開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

○ **固定間隔**

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 09/05/28 開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

[<< 戻る](#)
[次 >>](#)
[キャンセル](#)

注：デフォルトでは、バンドルのインストール頻度は [デバイスにつき 1 回インストール] に設定されています。繰り返しの展開の場合は、[常にインストール] に変更します。

スケジュールを変更する

- 1 特定のパッチバンドル割り当ての [アクション] タブをクリックします。
- 2 [オプション] をクリックします。これによって [インストールオプション] ウィンドウが開きます。

3 [常にインストール] を選択して [OK] をクリックします。

4 [適用] をクリックします。

このページでは、繰り返し展開の次のオプションを設定できます。

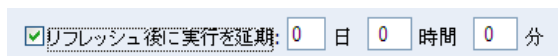
- ◆ 51 ページの「デバイスの更新時」
- ◆ 52 ページの「曜日」
- ◆ 53 ページの「月」
- ◆ 54 ページの「固定間隔」

デバイスの更新時

このオプションを使用すると、デバイスがリフレッシュされるたびに繰り返される展開をスケジュールできます。このオプションでは、次の展開を指定した時刻まで遅延するように選択できます。

遅延を設定するには、次の図に示すように、[更新後に実行を延期] チェックボックスをオンにして、展開を遅延する日数、時間、分を指定します。

図 5-8 [リフレッシュ後に実行を延期] チェックボックス



注：デバイスは [環境設定] タブの [デバイス管理] タブに示されている設定に基づいてリフレッシュされます。[デバイス管理] タブの [デバイスの更新スケジュール] リンクをクリックして、[手動の更新] または [スケジュールされた更新] のどちらかのオプションが表示されるページを開きます。または、[デバイス] タブからデバイスを選択し、[クイックタスク] メニューの [デバイスの更新] オプションをクリックしてデバイスをリフレッシュすることもできます。

曜日

このオプションでは、選択した曜日に展開をスケジュールできます。

図 5-9 週次展開オプション- デフォルト

日	月	火	水	木	金	土
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

- 展開日を設定するには、[曜日] ボタンを選択して目的の曜日をオンにし、展開の開始時刻を設定します。[詳細オプション] リンクをクリックすると、次の図に示すように、追加の展開オプションが表示されます。[オプションを非表示] リンクをクリックすると、追加の展開オプションが非表示になり、デフォルトの展開オプションのみが表示されます。

オプションを非表示

- ☐ デバイスがスケジュールとおりに実行できない場合はすぐに処理する
- ☐ 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 10:15)
- ☐ 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00


☐ スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 09/05/28

終了日: 09/05/28

[協定世界時(UTC)を使用] チェックボックスをオンにすると、タイムゾーンの違いにかかわらず、すべてのデバイスの展開を同時にスケジュールできます。協定世界時(UTC) (世界時間)、Z 時間またはズールー時間は、ローカルタイムゾーンに依存しない標準時間値です。UTC をオフにすると、配布はローカル時間でスケジュールされます。

[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] チェックボックスをオンにすると、[開始時刻] パネルのほかに [終了時刻] パネルも有効になります。開始時刻と終了時刻を、その間のランダムな時刻に展開が開始するように指定することができます。

[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] オプションを使用すると、選択した時刻に繰り返し展開をスケジュールし、指定した日付に展開を繰り返し、定義すれば特定の時刻に終了させることができます。このオプションを利用して、展開を開始時刻と終了時刻の間に限定することもできます。このオプションを設定するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] チェックボックスをオンにして、 アイコンをクリックしてカレンダーを開き、開始日または終了日を選択します。日付の選択が終了したら、[閉じる] ボタンをクリックします。

月


このオプションを使用すると、月次展開オプションを指定できます。

図 5-10 月次展開オプション- デフォルト




- ◆ [月次] 展開オプションでは、次を指定できます。
 - ◆ 月の日付：月の特定日に展開をスケジュールできます。1 ～ 31 の任意の日を指定できます。
 - ◆ 月の最終日：月の最終日に展開をスケジュールできます。
 - ◆ 月の特定日：毎月特定の日に展開をスケジュールできます。日付の有効なオプションは、1 日、2 日、3 日、4 日、および 5 日、週日の有効なオプションは、日曜日から土曜日です。月の特定の 1 日を選択するには、ドロップダウン矢印を使用します。次に例を示します。



その月の別の日付を選択するには、 アイコンをクリックし、次に示すように、2 行目にあるドロップダウン矢印を使用します。……



注：リストから特定の日を削除するには、 アイコンをクリックします。

[[詳細オプション](#)] リンクをクリックすると、次の図に示すように、追加の展開オプションが表示されます。[[オプションを非表示](#)] リンクをクリックすると、追加の展開オプションが非表示になり、デフォルトの展開オプションのみが表示されます。

月

☐ 日付: 1

☐ 月の最終日

☒ 2番目 日曜日

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

☐ デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

☐ 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 10:15)

☐ 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

☐ スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 09/05/28

終了日: 09/05/28

注: [[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定](#)] オプションを使用すると、選択した時刻に繰り返し展開をスケジュールし、指定した日付に展開を繰り返し、定義すれば特定の時刻に終了させることができます。このオプションを利用して、展開を「[開始時刻](#)」と「[終了時刻](#)」の間に限定することもできます。このオプションを設定するには、「[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定](#)」チェックボックスをオンにし、 アイコンをクリックしてカレンダーを開き、開始日または終了日を選択します。日付の選択が終了したら、「[閉じる](#)」ボタンをクリックします。

固定間隔

このオプションでは、固定された間隔後に実行される定期的な繰り返し展開をスケジュールすることができます。次の図に示すように、間隔の月数、週数、日数、時間数、分数、および展開スケジュールの開始日を選択できます。

図 5-11 固定間隔展開オプション - デフォルト

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 09/05/25 開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

[[詳細オプション](#)] リンクをクリックすると、次の図に示すように、追加の展開オプションが表示されます。[[オプションを非表示](#)] リンクをクリックすると、追加の展開オプションが非表示になり、デフォルトの展開オプションのみが表示されます。

図 5-12 固定間隔展開オプション- すべて

5.4.3 改善スケジュール：イベント

[[イベント](#)] を選択すると、次の図に示すように、[改善スケジュール] ページが表示されます。

図 5-13 [[イベント](#)] スケジュールタイプの [[改善スケジュール](#)] ページ

[[イベント](#)] スケジュールタイプの [[修正スケジュール](#)] ページには、イベントのリストがあり、ここから展開の開始を選択できます。次のテーブルは、[修正スケジュール] ページに登録された各イベントの選択結果を示します。

表 5-2 改善をトリガできるイベント

イベント	アクション
ユーザのログイン	ユーザがデバイスにログインするたびに展開改善が発生します。
ユーザのログアウト	ユーザがデバイスからログアウトするたびに展開改善が発生します。
デバイスのブート	デバイスがブートするたびに展開改善が発生します。

イベント	アクション
デバイスロック時	ユーザがデバイスをロックするたびに展開改善が発生します。
デバイスアンロック時	ユーザがデバイスをロック解除するたびに展開改善が発生します。
ZENworks – ログイン	ユーザが ZENworks ユーザソースアカウントにログインするたびに展開改善が発生します。ユーザソースアカウントが設定されていない場合、このオプションは該当しません。
ZENworks – ログアウト	ユーザが ZENworks ユーザソースアカウントからログアウトするたびに展開改善が発生します。ユーザソースアカウントが設定されていない場合、このオプションは該当しません。
ネットワークに接続しているデバイス (Windows のみ)	デバイスがネットワークへのアクセスを取得するたびに展開改善が発生します。

[次へ] ボタンをクリックして [改善オプション] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

注: UTC を使用している場合でも、エージェントが展開を取得する正確な時間はエージェントの通信間隔と、エージェントのスケジュールおよびパッチ管理サーバの時刻とタイムゾーンの設定が正しいかどうかによって依存します。

5.5 改善オプション

[改善オプション] ページを使用すると、各展開スケジュールに必要な改善オプションを選択できます。選択したパッチに対して展開をスケジュールする 4 番目のステップとして、選択したパッチに対して修正オプションを設定します。

注: [詳細] オプションを使用すると、各改善に対して個別のパッチフラグを指定することができます。

図 5-14 [改善オプション] ページ

パッチ

ステップ 4: 修正オプション

目的の修正オプションを選択してください。各修正に対して個別のパッチフラグを指定するには、[詳細] オプションを使用してください。

☐ Auto Reboot (silent install with optional reboot)
☒ No Reboot (silent install, never reboot)
☐ Advanced (individually set all possible deployment options)

<< 戻る 次>> キャンセル

次の表は、[改善オプション] ページで使用可能なオブジェクトの機能について説明しています。

表 5-3 修正オプション

改善オプション	機能
自動再起動 (任意で再起動を行ってサイレントインストール)	QChain が有効になっている状態で、可能なすべてのパッチを展開するように自動的に設定します。管理者は、それぞれのパッチに定義されている QChain (http://articles.techrepublic.com.com/5100-10878_11-1048774.html) および再起動設定を使用して、必要に応じてパッチ展開フラグを設定できます。
再起動なし (再起動を行わずにサイレントインストール)	QChain が有効になっている状態で、可能なすべてのパッチを展開するように自動的に設定します。必要な再起動がすべて自動的に行われるわけではありません。
詳細 (可能なすべての展開オプションを個別に設定)	管理者は、それぞれのパッチに定義されている QChain および再起動設定を使用して、必要に応じてパッチ展開フラグを設定できます。

[次へ] ボタンをクリックして [詳細修正オプション] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.6 詳細修正オプション













[詳細修正オプション] ページでは、各修正に対するパッチフラグを設定することができます。選択したパッチに対して展開をスケジュールする 5 番目のステップとして、選択したパッチに対してパッチフラグを設定します。このページに表示されるアイコンは、各パッケージに設定可能なパッチフラグを表します。

図 5-15 [詳細修正オプション] ページ



次の表は、[詳細修正オプション] ページ内の各アイコンの機能について説明しています。

表 5-4 [詳細修正オプション] ページ

アイコン	名前	機能
	アンインストール	パッケージをアンインストールします。
	強制シャットダウン	パッケージによって再起動が実行される場合は、すべてのアプリケーションを強制的に閉じます。
	バックアップしない	アンインストール時にファイルをバックアップしません。
	再起動の抑止	パッケージのインストールの後にコンピュータが再起動しないようにします。
	省略モード	省略モードで機能するようにインストーラを設定します。省略モードでは、改善中にユーザインタフェース (ユーザがログインしている場合) がすべて抑制されます。
	無人セットアップ	無人セットアップモードでパッケージをインストールします。
	ホットフィックスの一覧表示	ターゲットのコンピュータにインストールされているホットフィックスのリストを返します。
	強制再起動	パッケージ要件に関係なくコンピュータを強制的に再起動します。
	再起動が必要	このパッケージではインストールを完了するために再起動が必要なことを示します。 このオプションを選択すると、特定のバンドルで再起動が必要なくてもデバイスは再起動されます。
	チェーンパッケージ	パッケージをチェーン可能として設定します (パッケージでチェーンがサポートされている場合)。 このリリースでは、このオプションを変更することはできません。パッケージは常に [チェーン] オプションを使用してインストールされます。
	チェーン再起動の抑止	再起動を抑制し、他のチェーンパッケージをこのパッケージの後に送信できるようにします。 すべてのチェーンパッケージの最後の再起動を抑制してから、すべてのパッケージの完了時に再起動展開を送信する必要があります。
	ファイルパーミッションの修復	パッケージインストールの後にファイルの権限を修復します。

アイコン	名前	機能
	ダウンロードのみ	パッケージインストールスクリプトを実行せずにパッケージを配布します。
	通知の抑止	インストール中にユーザへの通知をすべて抑制します。
	デバッグモード	パッケージインストールをデバッグモードで実行します。
	パーミッションを修復しない	再起動の後に、ファイル名権限の修復を抑制します。
	再起動の可能性	必要に応じてパッケージの強制再起動を許可します。
	マルチユーザモード)	マルチユーザモードでインストールを実行します。
	シングルユーザモード	シングルユーザモードでインストールを実行します。
	サービスの再開	展開後にサービスを再開します。
	サービスをリスタートしない	展開後にサービスを再開しません。
	再設定	展開後にシステム再設定タスクを実行します。
	再設定しない	展開後にシステム再設定タスクを実行しません。

注：選択したパッチのタイプに応じて、58 ページの 図表 5-4 に表示されるアイコンはダイナミックに変化します。このため、テーブルに示したオプションの一部を選択できない場合があります。

[次へ] ボタンをクリックして「展開順序および動作」ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.7 展開順序および動作

改善の展開ウィザードの「展開順序および動作」ページでは、それぞれの展開スケジュールに対する順序と動作を設定できます。選択したパッチに対して展開をスケジュールの6番目のステップとして、展開順序および動作を設定します。

図 5-16 「展開順序および動作」 ページ

<input type="checkbox"/>	パッチ名	順序	再起動
<input type="checkbox"/>	Adobe Acrobat (Chinese-CHT) Reader 8.1	1	いいえ

「展開順序および動作」 ページの特徴は次のとおりです。

- ◆ **パッケージ名** : 展開用に選択されているパッチの名前。
- ◆ **順序** : 展開の実行順序。カラム見出しの隣に表示される矢印を使用して昇順または降順にソートできます。
- ◆ **再起動** : 該当するパッチに適用される再起動設定。

次の表は、「展開順序および動作」 ページ内のさまざまなボタンのアクションについて説明しています。

表 5-5 「展開順序および動作」 ページ内のボタン

ボタン	アクション
	パッチをすべての非チェーン展開の一番上に移動します。
	パッチを1つ上に移動します。
	パッチを1つ下に移動します。
	パッチをリストの一番下に移動します。

注 : チェーンパッチはチェーンステータスを削除した後に移動できます。

[次へ] ボタンをクリックして「インストール前の通知オプション」 ページを開きます。
[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.8 インストール前の通知オプション

改善の展開ウィザードの「インストール前の通知オプション」ページでは、パッチがダウンロードされてインストールされたときにユーザが通知を受信するかどうかを定義し、通知をカスタマイズできます。選択したパッチに対する展開をスケジュールする7番目のステップとして、通知を設定し、ユーザによるキャンセルを許可します。

図 5-17 「インストール前の通知オプション」ページ

パッチ

ステップ 7: インストール前の通知オプション

インストール前の通知オプションの選択

インストール前オプションの定義

☒ システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する

☐ 設定の上書き

☒ ユーザにパッチのインストールを通知する

パッチのダウンロードとインストールの準備ができました。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。

オプション

はい

いいえ

ユーザによるキャンセルを許可 ☒

インストール前にダイアログを表示する時間 ☐ 120

ユーザによるスヌーズを許可 ☒ 0 日 2 時間 0 分

<< 戻る 次 >> キャンセル

このページには次のオプションがあります。

- ◆ ユーザにパッチのインストールを通知する：このオプションを使用して、この展開をインストールする前にユーザに通知します。
- ◆ メッセージボックス：通知メッセージのテキスト。
- ◆ システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する：このオプションを選択して、各エージェントにデフォルト設定を使用します。このオプションはその他すべての再起動通知オプションを無効にします。

ヒント：システム変数またはデフォルトは、インストール前の通知オプションなど、エージェント設定をプロパティファイル内でシステムレベルで設定するよう定義されています。「システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する」オプションを選択した場合、現在のエージェントの設定は直接システム変数またはデフォルトから取得されます。選択しなかった場合は、ユーザがカスタマイズした設定が現在のエージェントにのみ適用されます。

次の表は、インストール前の通知オプションのシステム変数またはデフォルトを示します。

システム変数	変数の値
ユーザにパッチのインストールを通知する	オン
Message box of Patch Install(パッチインストールのメッセージボックス)	パッチのダウンロードとインストールの準備ができました。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。
ユーザによるキャンセルを許可	いいえ
再起動前にダイアログを表示する時間	いいえ 120 秒
ユーザによるスヌーズを許可	はい 0 日、2 時間、0 分

- ◆ **上書き設定**：このオプションを選択して、ユーザが各エージェントに選択した設定を使用します。このオプションを選択すると、その他すべての通知オプションが有効になり、デフォルト設定を編集できるようになります。
- ◆ **オプション**：再起動オプションを定義しているときに、デフォルト設定の値を使用するか（「システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する」チェックボックスを選択）、またはカスタム設定を使用するかを指定することができます。次のように、3つのオプションがあります。
 - ◆ **ユーザによるキャンセルを許可**：ユーザに再起動のキャンセルを許可します。
 - ◆ **インストール前にダイアログを表示する時間**：パッチをダウンロードするかインストールするかユーザが選択する、秒数。
 - ◆ **ユーザによるスヌーズを許可**：ユーザに再起動のスヌーズを許可します。

[次へ] ボタンをクリックして「通知および再起動オプション」ページに進みます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.9 通知および再起動オプション

改善の展開ウィザードの「通知および再起動オプション」ページを使用すると、ユーザがこれらの展開と再起動の通知を受信するかどうかを定義して、通知をカスタマイズできます。パッチに対する展開をスケジュールする 8 番目のステップとして、選択したパッチに対する通知および再起動オプションを設定します。

図 5-18 「通知および再起動オプション」 ページ

パッチ	
ステップ 8: 通知および再起動オプション	
展開の順序および動作を選択する	
再起動オプションの定義	
<input checked="" type="radio"/>	システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する
<input type="radio"/>	設定の上書き
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザにパッチのインストールを通知する	
コンピュータでパッチのインストールを完了するには、再起動が必要です。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management管理者に連絡してください。	
オプション	はい いいえ
再起動の抑止	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
ユーザによるキャンセルを許可	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
インストール前にダイアログを表示する時間	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ 120
ユーザによるスヌーズを許可	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 0 日 2 時間 0 分
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="次"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

このページには次のオプションがあります。

- ◆ **ユーザにパッチのインストールを通知する**：このオプションを使用して、この展開をインストールする前にユーザに通知します。
- ◆ **メッセージボックス**：通知メッセージのテキスト。
- ◆ **システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する**：このオプションを選択して、各エージェントにデフォルト設定を使用します。このオプションはその他すべての再起動通知オプションを無効にします。

次の表は、通知と再起動オプションのシステム変数またはデフォルトを示します。

システム変数	変数の値
ユーザにパッチのインストールを通知する	オン

システム変数	変数の値
Message box of Patch Install(パッチインストールのメッセージボックス)	パッチのダウンロードとインストールの準備ができました。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。
再起動の抑止	いいえ
ユーザによるキャンセルを許可	いいえ
再起動前にダイアログを表示する時間	いいえ 120 秒
ユーザによるスヌーズを許可	はい 0 日、2 時間、0 分

- ◆ **上書き設定**：このオプションを選択して、ユーザが各エージェントに選択した設定を使用します。このオプションを選択すると、その他すべての通知オプションが有効になり、デフォルト設定を編集できるようになります。
- ◆ **オプション**：再起動オプションを定義しているときに、デフォルト設定の値を使用するか（「システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する」チェックボックスを選択）、またはカスタム設定を使用するかを指定することができます。オプションは4つあります。
 - ◆ **再起動の抑止**：パッチバンドルで再起動が要求される場合でも、再起動を抑制します。
 - ◆ **ユーザによるキャンセルを許可**：ユーザに再起動のキャンセルを許可します。
 - ◆ **インストール前にダイアログを表示する時間**：ユーザがパッチのダウンロードまたはインストールを選択できる秒数。
 - ◆ **ユーザによるスヌーズを許可**：ユーザに再起動のスヌーズを許可します。

[次へ] ボタンをクリックして「展開概要」ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.10 展開概要

改善の展開ウィザードの「展開概要」ページは、前のステップでスケジュールした展開の概要が表示されます。選択したパッチの展開をスケジュールする 9 番目の、そして最後のステップとして、展開の重要なポイントをまとめます。

図 5-19 「展開概要」ページ

バッチ ステップ 9: 展開概要

概要を確認して「完了」を押します。

プロパティ名	詳細	
スケジュール	イベント	
選択したパッケージ合計数 1		
順序	パッケージ名	再起動
1	Adobe Acrobat (Chinese-CHT) Reader 8.1	はい

<< 戻る 完了 キャンセル

「展開概要」ページには、スケジュールした展開に関する次の詳細が表示されます。

- ◆ **スケジュール**: 「改善スケジュール」ページで定義されている、展開に対して選択されたスケジュールです。
- ◆ **選択したパッケージ合計数**: 展開に選択されたパッチの合計数。
- ◆ **順序**: 「展開順序および動作」ページで定義されているパッチの展開に対して選択された展開順序です。
- ◆ **パッケージ名**: 展開用に選択したパッチの名前です。
- ◆ **再起動**: 「展開順序および動作」ページで定義されている、選択されたパッチの再起動設定です。

「終了」ボタンをクリックして、選択したパッチの展開のスケジュールプロセスを完了します。「戻る」ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、「キャンセル」をクリックします。

強制的なベースラインの使用

強制的なベースラインを設定することにより、デバイスグループを確実に保護し、グループ内のすべてのデバイスに一貫して確実にパッチが適用されます。

- 67 ページのセクション 6.1 「強制的なベースラインについて」
- 70 ページのセクション 6.2 「強制的なベースラインの使用」

6.1 強制的なベースラインについて

強制的なベースラインは、デバイスグループに対するユーザ定義のコンプライアンスレベルです。デバイスがコンプライアンスを満たしていない場合、強制的なベースラインにより、デバイスにパッチを適用してコンプライアンス状態に戻します。

重要：強制的なベースラインは、最新の検出スキャン結果に基づいた自動適用方法であるため、この方法で解決されるパッチの展開時間や順序を制御することはできません。厳しいコンテンツ停止スケジュールが有効になっていない限り、予定外のパッチ展開によって日常業務に支障が出る可能性がある場合は、ミッションクリティカルサーバまたは他のデバイスのグループに強制的なベースラインを適用しないでください。

[コンテンツ停止スケジュール] パネルを使用すると、コンテンツ (バンドル、ポリシー、構成設定など) をデバイスに配布しない時間を定義することができます。

強制的なベースラインが作成または修正された場合：

- ZENworks[®] サーバは、グループ内のすべてのデバイスに対して自動的に Discover Applicable Updates (DAU) タスクをスケジュールします。
- 数時間ごとに、ZENworks サーバは DAU タスクの結果によってどのデバイスが該当し、コンプライアンスから外れているかを判別します (ベースラインに追加されたパッチに基づく)。
- ベースラインの定義に従って、必要なバンドルが直ちに各デバイスに展開されます。
- パッチの展開後、デバイスをパッチ適用済みとして検出させるには、デバイスを再起動する必要があります。

ベースラインの機能では、パッチ適用済みのデバイスは自動再起動されません。

注：MDAC および IE などのパッチを完了するには、再起動と管理者レベルでのログインが必要です。これらのパッチまたは同様のパッチがベースラインに追加されたら、ログインが行われるまで展開は停止されます。

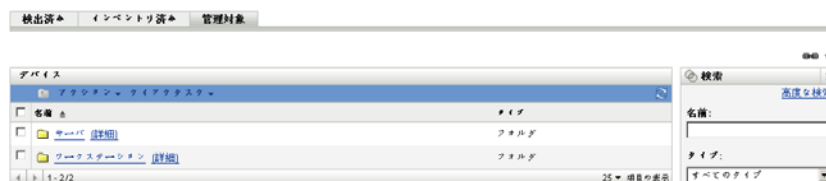
次のセクションでは、強制的なベースラインについて詳しく説明します。

- 67 ページのセクション 6.1.1 「強制的なベースラインの表示」
- 69 ページのセクション 6.1.2 「[強制的なベースライン] ページの使用」

6.1.1 強制的なベースラインの表示

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

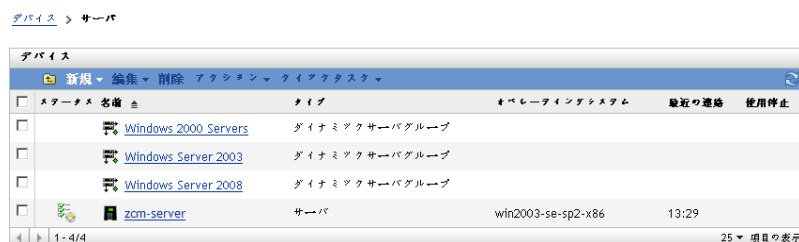
次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

2 [サーバ] または [ワークステーション] リンクをクリックします。

オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバまたはワークステーショングループのリストが表示されます。次の図は、サーバグループのリストの例を示しています。



3 [サーバ] または [ワークステーション] ページ (この場合は [サーバ] ページ) で任意のグループを選択します。


グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[Windows Server 2003] という動的サーバグループを選択したときに表示されるページを示しています。



4 [パッチ] タブをクリックします。

選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチが表示されます。選択したグループが「Windows Server 2003」の場合、次の図に示すように、「[パッチ]」タブには「Windows Server 2003」内のメンバーデバイスに該当するすべてのパッチが表示されます。



ベースラインに割り当てられたパッチ (強制的なベースラインパッチ) には、上の図に示すように、その名前の横にアイコンが表示されます。

ベースラインパッチは、「[パッチ]」ページの「[検索]」パネルを使用して強制的なベースラインパッチを検索することによって表示することもできます。

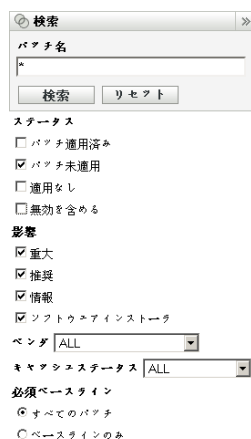
「[パッチ]」および「[パッチ情報]」パネルの詳細については、29 ページの第 4 章「[パッチ管理] タブの使用」を参照してください。

6.1.2 「強制的なベースライン」ページの使用

「強制的なベースライン」ページの「[検索]」パネルを使用してベースラインパッチを表示することができます。

図 6-1 に示すように、「[Device Group Patches (デバイスグループパッチ)]」ページの「[検索]」パネルで、強制的なベースラインパッチを検索できます。「[検索]」パネルでは、パッチのステータスおよび影響に基づいて別のパッチを検索することもできます。

図 6-1 強制的なベースライン検索



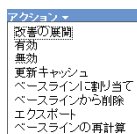
強制的なベースラインパッチは、次のフィルタオプションに基づいて検索することができます。

- ◆ **すべてのパッチ**：強制的なベースライン項目を含む、すべてのパッチを表示します。
- ◆ **ベースラインのみ**：グループの「強制的なベースライン」項目とマークされたパッチのみを表示します。

6.2 強制的なベースラインの使用

[Device Group Patches(デバイスグループパッチ)] ページの [アクション] パネルでは、強制的なベースラインパッチに関するさまざまなアクションを実行することができます。また、[アクション] メニューオプションは、グループ全体で一貫した同じ方法でパッチを管理および展開する際にも役立ちます。次の図は、強制的なベースラインを使用する際に役立つさまざまなメニューオプションを示しています。

図 6-2 [アクション] メニュー項目



- ◆ **[改善の展開]** オプションを使用すると、パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開する必要があるパッチのチェックボックスをオンにして、[アクション] メニューオプションから [改善の展開] を選択し、[改善の展開] ウィザードを開きます。
- ◆ **[有効]** オプションを使用すると、無効になっているパッチを有効にすることができます。
- ◆ **[無効]** オプションを使用すると、パッチを無効にすることができます。このオプションを使用するには、必要なパッチのチェックボックスをオンにして [無効] を選択します。選択したパッチがリストから削除されます。
- ◆ **[更新キャッシュ]** オプションを使用すると、選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して ZENworks サーバにキャッシュします。詳細については、73 ページのセクション 6.2.3 「[更新キャッシュ] の使用」を参照してください。
- ◆ **[ベースラインに割り当て]** オプションを使用すると、パッチにベースラインを割り当てることができます。詳細については、71 ページのセクション 6.2.1 「強制的なベースラインの割り当てまたは管理」を参照してください。
- ◆ **[ベースラインから削除]** オプションを使用すると、パッチをベースラインから削除することができます。詳細については、72 ページのセクション 6.2.2 「強制的なベースラインの削除」を参照してください。
- ◆ **[エクスポート]** オプションを使用すると、すべてのパッチのステータスや影響などの詳細をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。ファイルをダウンロードオプションから開いて、別のファイル形式でファイルを保存するよう選択することができます。
- ◆ **[ベースラインの再計算]** オプションで、通常 4 時間ごとに自動的に実行されるスレッドを開始できます。これにより、4 時間待機しなくても、関連デバイスへのベースライン展開が作成されます。

次のセクションでは、強制的なベースラインについて詳しく説明します。

- ◆ 71 ページのセクション 6.2.1 「強制的なベースラインの割り当てまたは管理」
- ◆ 72 ページのセクション 6.2.2 「強制的なベースラインの削除」
- ◆ 73 ページのセクション 6.2.3 「[更新キャッシュ] の使用」

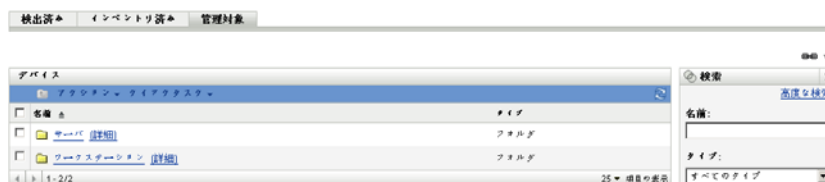
6.2.1 強制的なベースラインの割り当てまたは管理

強制的なベースラインはグループにのみ適用することができ、各グループには1つの強制的なベースラインのみ適用可能です。ただし、1つのデバイスは複数グループのメンバーになることができるため、それぞれに異なる強制的なベースラインを適用できます。

強制的なベースラインを作成または管理する

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

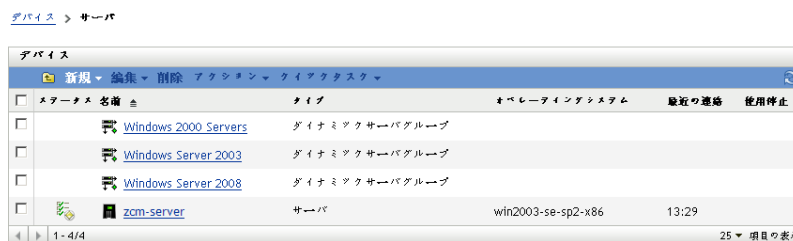
次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

- 2 [サーバ] または [ワークステーション] リンクをクリックします。

オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバまたはワークステーショングループのリストが表示されます。次の図は、サーバグループのリストの例を示しています。



- 3 [サーバ] または [ワークステーション] ページ (この場合は [サーバ] ページ) で任意のグループを選択します。

グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[Windows Server 2003] という動的サーバグループを選択したときに表示されるページを示しています。



- 4 必要なパッチを選択して、[アクション] メニューから [ベースラインに割り当て] オプションを選択します。パッチの横にアイコンが表示され、ベースラインに割り当てられたことが示されます。

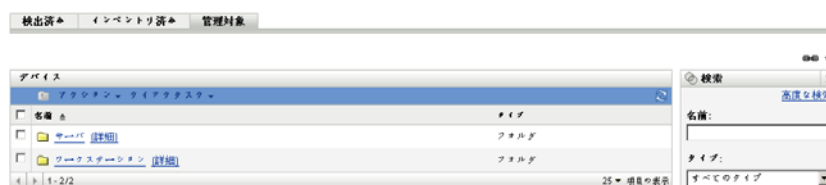
パッチがベースラインに割り当てられた後、次のプロセスが実行されます。

1. ZENworks® サーバは、グループ内のすべてのデバイスに対して自動的に Discover Applicable Updates タスクをスケジュールします。
2. 数時間ごとに、ZENworks サーバは DAU タスクの結果によってどのデバイスが該当し、コンプライアンスから外れているかを判別します (ベースラインに追加されたパッチに基づく)。
3. ベースラインの定義に従って、必要なバンドルが直ちに各デバイスに展開されます。
4. パッチの展開後、デバイスをパッチ適用済みとして検出させるには、デバイスを再起動する必要があります。

注: ベースラインの機能では、パッチ適用済みのデバイスは自動再起動されません。

6.2.2 強制的なベースラインの削除

- 1 左のパネルの [デバイス] タブをクリックして [デバイス] ページを表示し、デバイスの各タイプのルートフォルダを表示します。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

- 2 [サーバ] または [ワークステーション] リンクをクリックします。

オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバまたはワークステーショングループのリストが表示されます。次の図は、サーバグループのリストの例を示しています。

デバイス > サーバ

<input type="checkbox"/>	ステータス	名前	タイプ	オペレーティングシステム	最近の更新	使用停止
<input type="checkbox"/>		Windows 2000 Servers	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>		Windows Server 2003	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>		Windows Server 2008	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>		zcm-server	サーバ	win2003-se-sp2-x86	13:29	

- 3 [サーバ] または [ワークステーション] ページ (この場合は [サーバ] ページ) で任意のグループを選択します。

グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[Windows Server 2003] という動的サーバグループを選択したときに表示されるページを示しています。

デバイス > サーバ > Windows Server 2003

全般	
オブジェクトタイプ:	ダイナミックサーバグループ
GUID:	eb740c593178992de113c7386024441
説明:	Windows Server 2003 Group

メンバー	
名前	ノブ フラッシュ
nov-fr-ddcvt	1サーバに追加

メンバー変更ログ		
項目	更新されました	削除されました
513	1	0

- 4 強制的なベースライン項目 (ベースラインに割り当てられたパッチ) を選択して、[アクション] メニューから [ベースラインから削除] オプションを選択します。
ベースラインからパッチが削除されます。

注: [ベースラインから削除] オプションは、パッチがベースラインに追加されている場合にのみ有効になります。

6.2.3 [更新キャッシュ] の使用



[アクション] メニューのオプション [更新キャッシュ] (70 ページの 図 6-2 を参照) を使用すると、選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して ZENworks サーバにキャッシュします。

注: ターゲットデバイスにバンドルをインストールする前に、改善バンドルをキャッシュしておく必要があります。

パッチデータのキャッシュを更新するには、次の手順に従います。

- 1 [パッチ] リストで、1 つまたは複数のパッチを選択します。

2 [アクション] メニューで [更新キャッシュ] をクリックします。

アイコンが  に変わります。ダウンロード処理中、アイコンは  に変わります。キャッシングが完了すると、パッチアイコンの色が青に変わります。これはパッチの改善の展開準備が整っていることを示します。

デバイスのパッチ管理

7

デバイスのパッチとは、選択したデバイス（サーバまたはワークステーション）に関連付けられているパッチ情報を指します。特定のデバイスに対して一覧にされたパッチは、そのデバイスにのみ適用されるパッチです。次のセクションでは、Novell® ZENworks® 10 Patch Management のデバイスパッチ情報について説明します。

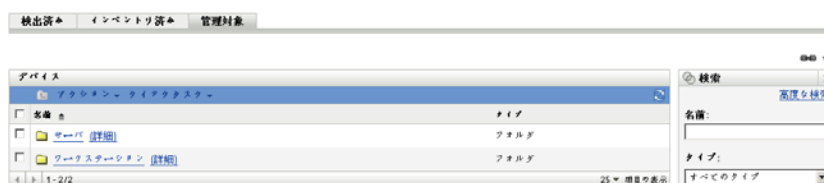
- ♦ 75 ページのセクション 7.1 「デバイスの [パッチ] タブへのアクセス」
- ♦ 77 ページのセクション 7.2 「デバイスの [パッチ] タブの使用」

7.1 デバイスの [パッチ] タブへのアクセス

特定のサーバデバイスに対するパッチを表示するには、次の手順に従います。

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。




[サーバ] フォルダは、すべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。




- 2 [サーバ] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバグループのリストが表示されます。



[サーバ] ページに次のアイコンが表示されます。

アイコン	ステータス
	メッセージステータス : 正常 デバイスステータス : バンドルとポリシーの実施が成功しました

アイコン	ステータス
	メッセージステータス：警告 デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：エラー デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：エラー デバイスステータス：バンドルまたはポリシー、あるいはその両方の実施が1つ以上の項目で失敗しました

デバイスは検索して見つけることもできます。次のフィルタを使用できます。

フィルタ項目	結果
名前	検索結果には、デバイスの名前が示されます。
タイプ	検索結果には、選択したタイプに分類されるすべてのデバイスが返されます。
オペレーティングシステム	検索結果には、選択したオペレーティングシステムに分類されるすべてのデバイスが返されます。
メッセージステータス	検索結果には、選択したメッセージステータスに分類されるすべてのデバイスが返されます。
コンプライアンスステータス	検索結果には、選択したコンプライアンスステータスに分類されるすべてのデバイスが返されます。
デバイスステータス	検索結果には、選択したデバイスステータスに分類されるすべてのデバイスが返されます。
サブフォルダを含む	サブフォルダに対しても検索が実行されます。

- 3 必要なグループ ([サーバグループ] または [動的サーバグループ]) をクリックして、グループおよびグループメンバーの詳細を表示します。または、管理対象デバイスをクリックすることもできます。

次の図のような、管理対象デバイスまたはメンバーについての詳細を表示するページが表示されます。ここで、管理対象デバイスの名前 `zpms2k3ssp1` は例です。管理対象デバイスの名前はネットワーク管理者が決定します。

[デバイス](#) > [サーバ](#) > nov-fr-ddsvr

nov-fr-ddsvr

概要	インベントリ	関係	設定	コンテンツ	統計情報	パッチ
----	--------	----	----	-------	------	-----

全般

エイリアス:	nov-fr-ddsvr
ホスト名:	NOV-FR-DDSVR
IPアドレス:	172.22.14.192
最終フルリフレッシュ:	5/20
最近の連絡:	13:29
ZENworks Configuration Managementバージョン:	10.2.0.0
ZENworks Asset Managementバージョン:	10.2.0.22715
ZENworks Patch Managementバージョン:	10.2.0.963
ZENworksエージェントバージョン:	10.2.0.22753
ZENworksエージェントステータス:	
オペレーティングシステム:	Microsoft Windows Server 2003 5.2.2.3790
未承認のエラーの数:	8
未承認の警告の数:	5
プライマリユーザー:	ユーザーが設定されていません
所有者: (編集)	
シリアル番号: (編集)	22985be3cc7f4e1b0512ba685326b69e
GUID:	22985be3cc7f4e1b0512ba685326b69e
部署: (編集)	
サイト: (編集)	
位置: (編集)	

- 4 [パッチ] タブをクリックして、サーバデバイスに関連付けられたパッチを表示します。

[デバイス](#) > [サーバ](#) > nov-fr-ddsvr

nov-fr-ddsvr

概要	インベントリ	関係	設定	コンテンツ	統計情報	パッチ
----	--------	----	----	-------	------	-----

パッチ

インストール	パッチ名	警告	インストール
<input type="checkbox"/>	Citrix Presentation Server Client Package 10.200 (All Languages)	ソフトウェアインストール	インストール
<input type="checkbox"/>	Internet Explorer 7 Blocker Toolkit [SEE NOTES]	ソフトウェアインストール	インストール
<input type="checkbox"/>	Internet Explorer 7.0 [SEE NOTES] (Rev 3)	ソフトウェアインストール	インストール
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r19 for IE	ソフトウェアインストール	インストール
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r61 for IE	ソフトウェアインストール	インストール
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r63 for IE	ソフトウェアインストール	インストール
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 8.0.r22 for IE	ソフトウェアインストール	インストール
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 1 (KB110806) (x86)	重大	インストール
<input type="checkbox"/>	Mozilla Firefox (Firefox) 3.0 for Windows (Full/Unrated) (Rev 2)	ソフトウェアインストール	インストール

検索

パッチ名

検索 リセット

ステータス

☐ パッチ適用済み

☐ パッチ未適用

☐ 適用なし

☐ 無効な内容

影響

☐ 重大

☐ 軽微

☐ 情報

インストール [\[ALL\]](#)

セキュリティステータス [\[ALL\]](#)

7.2 デバイスの [パッチ] タブの使用

- ◆ 78 ページのセクション 7.2.1 「パッチ」
- ◆ 78 ページのセクション 7.2.2 「パッチ名」
- ◆ 78 ページのセクション 7.2.3 「利用可能なパッチの合計数」
- ◆ 79 ページのセクション 7.2.4 「パッチの影響」

- ◆ 80 ページのセクション 7.2.5 「パッチの統計情報」
- ◆ 80 ページのセクション 7.2.6 「[アクション] メニュー項目」
- ◆ 81 ページのセクション 7.2.7 「パッチの検索」
- ◆ 83 ページのセクション 7.2.8 「パッチ情報」
- ◆ 84 ページのセクション 7.2.9 「ワークステーションデバイスのパッチ」

7.2.1 パッチ

[パッチ] ページのこのセクションでは、パッチに関する次の情報が提供されます。

- ◆ パッチの名前
- ◆ 利用可能なパッチの合計数
- ◆ パッチの影響
- ◆ パッチの統計情報

このセクションには [アクション] メニューがあり、[改善の展開]、[有効]、[無効]、[今すぐスキャン]、[更新キャッシュ]、および [エクスポート] という、パッチに関連する 5 つのアクションを実行できます。これらのアクションの詳細については、[80 ページのセクション 7.2.6 「\[アクション\] メニュー項目」](#) を参照してください。

[パッチ] セクションには「項目の表示」オプションもあり、このセクションに表示する項目の数を選択することができます。

図 7-1 [項目の表示] ドロップダウンリスト



7.2.2 パッチ名

一般的にパッチ名には、パッチのベンダーまたはメーカー、特定のアプリケーション、およびバージョン情報が含まれます。

次の図はパッチの名前の例を示しています。次のパッチ名で、Adobe* はベンダ、Acrobat* Reader はアプリケーション、6.0.6 はバージョン情報を示します。

図 7-2 パッチ名の例

[Adobe Acrobat Reader 6.0.6 Update](#)

7.2.3 利用可能なパッチの合計数

利用可能なパッチの合計数が表の左下角に表示されます。次の例では、979 のパッチを使用できます。

図 7-3 パッチの合計数

1 - 10 / 979

7.2.4 パッチの影響

パッチのリリース日および影響に基づいて、パッチは「重大」、「推奨」、「情報」、または「ソフトウェアインストーラ」に分類されます。

- ◆ **重大**：このタイプのパッチは Novell によって重大と判断されているため、できる限り早急にインストールしてください。最近のセキュリティアップデートのほとんどはこのカテゴリに分類されます。ZENworks サーバは、重大な影響を持つパッチを自動的にダウンロードして保存します。
- ◆ **推奨**：このパッチは、重大またはセキュリティ関連ではないものの、役立つものであり、コンピュータの良好な状態を保つために適用すべきと Novell によって判断されています。したがって、Novell ではこのカテゴリに分類されたパッチを適用することをお勧めします。
- ◆ **情報**：このタイプのパッチは、Novell によって情報と判断された状態を検出します。情報パッチは、情報目的にのみ使用されます。インストールする実際のパッチはありません。
- ◆ **ソフトウェアインストーラ**：このタイプのパッチはソフトウェアアプリケーションです。通常、これらはインストーラを含みます。アプリケーションがマシンにインストールされていない場合には、パッチには「パッチ未適用」と表示されます。

パッチ管理では、パッチサブスクリプションの影響に関する用語は、パッチの重大度を示すためにベンダーが使用している影響に関する用語に厳密に従っています。各オペレーティングシステムにはベンダー固有の影響度評価があり、その影響度は、このセクションで説明している Novell の評価に対応しています。パッチ管理では、Lumension Security の勧告に従って、影響度評価の重大度を増加またはステップアップさせています。たとえば、Microsoft の分類で「重大」、「重要」、「中」とされているパッチは、Novell ではすべて「重大」に分類されます。

次の表は、Novell と Microsoft のパッチ分類用語の一覧について説明しています。

表 7-1 Novell と Microsoft のパッチ影響度の対応

Novell パッチ影響度	Windows	その他
重大	重大なセキュリティ	NA
	重要	
	中	
推奨	推奨	NA
	低 例 :Microsoft Outlook 2003 迷惑メール フィルタアップデート	
ソフトウェアイン ストーラ	ソフトウェア配布 例 :Microsoft Windows 悪意のあるソフ トウェアの削除ツール (ウィルス駆除)	Adobe* 8.1 ソフトウェアインストー ラ
情報	NA	NA

ソース :Lumension Security

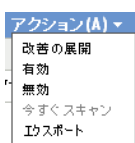
7.2.5 パッチの統計情報

パッチの統計情報には、特定のパッチと選択したデバイスの関係が表示されます。パッチ統計情報は「パッチ」ページの右端にある「パッチ適用済み」カラムに表示されます。このカラムは、選択したデバイスにパッチが正常に適用されているかどうかを示します。このカラムは、デバイスにパッチが適用されている場合は「Yes」、デバイスにパッチが適用されていない場合は「No」になります。

7.2.6 「アクション」メニュー項目

選択したデバイスの「パッチ」ページの「アクション」メニューは、次の6つのオプションで構成されます。

図 7-4 アクションメニュー



- ◆ **改善の展開**：パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開するパッチのチェックボックスをオンにして、「改善の展開」を選択し、「改善の展開」ウィザードを開きます。
- ◆ **有効**：無効になっているパッチを有効にすることができます。このオプションを使用するには、「アクション」メニューから選択します。
- ◆ **無効**：パッチを無効にすることができます。このオプションを使用するには、必要なパッチのチェックボックスをオンにして「無効」を選択します。選択したパッチがリストから削除されます。



注：パッチを無効にすると、関連付けられているバンドルもすべて無効になります。

- ◆ **今すぐスキャン**：Discover Applicable Updates (DAU) タスクを、ただちに実行されるように再スケジュールすることができます。DAU は事前定義した間隔スケジュールで実行されます。手動スキャンはタスクをただちに実行するようにスケジュールします。
- ◆ **更新キャッシュ**：選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して、それらのバンドルを ZENworks サーバにキャッシュします。

注：ターゲットデバイスにバンドルをインストールする前に、改善バンドルのステータスをキャッシュしておく必要があります。

このオプションを使用する

1. 「パッチ」リストから1つまたは複数のパッチを選択します。
2. 「アクション」メニューで「更新キャッシュ」をクリックします。

パッチアイコンがに変わります。ダウンロード処理中、アイコンはに変わります。キャッシングが完了すると、パッチアイコンの色が青に変わります。これはパッチの改善の展開準備が整っていることを示します。

- ◆ **エクスポート**：すべてのパッチのステータスや影響などの詳細をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。ファイルをダウンロードオプションから開いて、別のファイル形式でファイルを保存するよう選択することができます。

7.2.7 パッチの検索

[パッチ] ページの [検索] セクションには、広範な検索およびデータフィルタリングオプションが用意されており、特定のパッチを検索して、パッチの「ステータス」や「影響」に基づいて結果セットをフィルタすることができます。検索とフィルタリングはそれぞれ独立して実行することもできますが、組み合わせて拡張ドリルダウン機能を実行することもできます。次の図は、[パッチの検索] セクションを示しています。

図 7-5 [パッチ] ページの [検索] セクション

パッチを検索するには、次の手順に従います。

- 1 [パッチ名] テキストボックスにパッチ名のすべてまたは一部を入力します。
- 2 [ステータス] または [影響] の下にある目的のチェックボックスをオンにします。
- 3 [ベンダ] ドロップダウンリストで、ベンダを選択します。
- 4 [キャッシュステータス] ドロップダウンリストでキャッシュステータスを選択します。
- 5 [検索] をクリックします。

[リセット] をクリックすると、デフォルト設定に戻すことができます。

次の表は、[ステータス] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 7-2 [検索] の「ステータス」フィルタ

「ステータス」フィルタ	結果
パッチ適用済み	検索結果のパッチリストには、1つまたは複数のデバイスに適用されているすべてのパッチが含まれます。
パッチなし	検索結果のパッチリストには、どのデバイスにも適用されていないすべてのパッチが含まれます。
適用なし	検索結果のパッチリストには、デバイスに適用されないすべてのパッチが含まれます。
無効を含める	検索結果のパッチリストには、管理者によって無効にされているすべてのパッチが含まれます。

次の表は、[影響] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 7-3 [検索] の「影響」フィルタ

「影響」フィルタ	結果
重大	検索結果のパッチリストには、Novell によって「重大」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
推奨	検索結果のパッチリストには、Novell によって「推奨」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
情報	検索結果のパッチリストには、Novell によって「情報」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
ソフトウェアインストーラ	検索結果のパッチリストには、Novell によって「ソフトウェアインストーラ」と分類されたすべてのパッチが含まれます。

表 7-4 検索でのベンダフィルタと、キャッシュステータスフィルタ

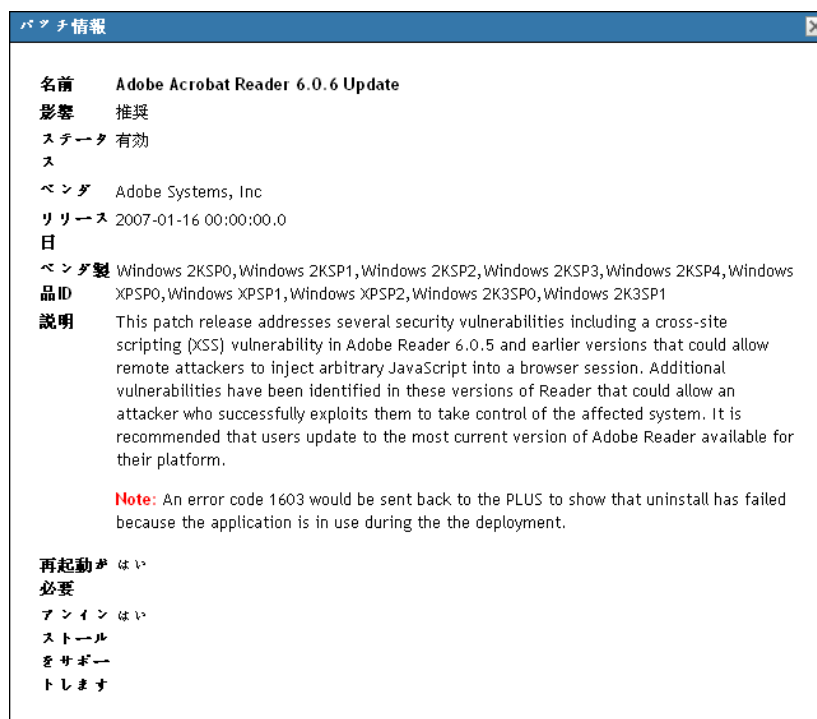
フィルタ	結果
ベンダ名	検索結果には、パッチリスト内のベンダに関連しているすべてのパッチが含まれます。
キャッシュステータス	検索結果には、キャッシュに入れられた、またはローカルサーバのキャッシュに入れられていないすべてのパッチが含まれます。

7.2.8 パッチ情報

選択したパッチの詳細情報は、[パッチ情報] セクションで参照することができます。パッチの名前をクリックすると、そのパッチの詳細が表示されます。

たとえば、パッチリストから [Adobe Acrobat Reader 6.0.6 Update] というパッチを選択した場合、[パッチ情報] セクションには、次の図に示すように、選択したパッチのパッチ分析結果が表示されます。

図 7-6 選択したパッチのパッチ情報



次の表は、[パッチ情報] セクションの各プロパティ名を定義しています。

表 7-5 [パッチ情報] セクション内のプロパティ名

プロパティ名	定義
名前	パッチの名前。
影響	Novell が判断したパッチの影響度。詳細については、79 ページのセクション 7.2.4 「パッチの影響」を参照してください。
ステータス	パッチのステータスで、[有効]、[無効 (置き換え済み)]、[無効 (ユーザ別)] があります。
ベンダ名	ベンダーまたはメーカーの名前。
リリース日	パッチがリリースされた日付。
ベンダ製品 ID	ベンダーが製品に割り当てた ID 番号。

プロパティ名	定義
説明	パッチの説明。パッチの展開の利点と展開の事前必要条件を含みます。
再起動が必要	パッチ展開の後、再起動が必要かどうかを示します。
アンインストールをサポート	インストール後にパッチのアンインストールがサポートされているかどうかを示します。

7.2.9 ワークステーションデバイスのパッチ

特定のワークステーションデバイスに対するパッチを表示するには、次の手順に従います。

- 1 [デバイス] ページの [Workstation] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたワークステーショングループのリストが表示されます。



[ワークステーション] ページに次のアイコンが表示されます。

アイコン	ステータス
	メッセージステータス: 正常 デバイスステータス: バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス: 警告 デバイスステータス: バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス: エラー デバイスステータス: バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス: エラー デバイスステータス: バンドルまたはポリシー、あるいはその両方の実施が1つ以上の項目で失敗しました

デバイスは検索を使用しても見つけることができます (76 ページの「フィルタ項目」のセクションを参照してください)。

2 必要なグループ ([ワークステーショングループ] または [動的ワークステーショングループ]) をクリックして、グループおよびグループメンバーの詳細を表示します。

3 必要なメンバーまたはワークステーションデバイスをクリックします。

メンバーの詳細が表示されたページが表示されます。次の図は、「w2adxp2」という名前のワークステーションデバイスの詳細が表示されたページを示しています。

[デバイス](#) > [ワークステーション](#) > tw-270xsp2

tw-270xsp2

概要	インベントリ	関係	設定	コンテンツ	パッチ
全般					
エイリアス:	tw-270xsp2				
ホスト名:	N112-BPXP-OK				
IPアドレス:	172.22.3.16				
最終フルリフレッシュ:	14:20				
最近の連絡:	14:20				
ZENworksエージェントバージョン:	10.2.0.22753				
ZENworksエージェントステータス:					
オペレーティングシステム:	Microsoft Windows XP Professional 5.1 2 2600				
未承認のエラーの数:	0				
未承認の警告の数:	0				
プライマリユーザ:	ユーザソースが設定されていません				
所有者: (編集)					
シリアル番号: (編集)	6b920e03da86f6933ab0e57f74a5a4ef				
GUID:	6b920e03da86f6933ab0e57f74a5a4ef				
部署: (編集)	d				
サイト: (編集)					
位置: (編集)					

4 [パッチ] タブをクリックします。

次の図に示すように、ワークステーションデバイスに関連付けられているパッチが表示されます。

[デバイス](#) > [サーバー](#) > nov-fr-ddsvr

nov-fr-ddsvr

概要	インベントリ	関係	設定	コンテンツ	統計情報	パッチ																																								
パッチ																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>パッチ名</th> <th>説明</th> <th>バージョン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Citrix Presentation Server Client Package 10.200 (All Languages)</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Internet Explorer 7 Blocker Toolkit (SEE NOTES)</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Internet Explorer 7.0 (SEE NOTES) (Rev 3)</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Macromedia Flash Player 7.0.r19 for IE</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Macromedia Flash Player 7.0.r61 for IE</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Macromedia Flash Player 7.0.r63 for IE</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Macromedia Flash Player 8.0.r22 for IE</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 1 (KB10806) (x86)</td> <td>更新</td> <td>10.1.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Mozilla Firefox (French) 3.0 for Windows (Full/Unrarad) (Rev 7)</td> <td>ソフトウェアインストーラ</td> <td>10.1.1</td> </tr> </tbody> </table>							選択	パッチ名	説明	バージョン	<input type="checkbox"/>	Citrix Presentation Server Client Package 10.200 (All Languages)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Internet Explorer 7 Blocker Toolkit (SEE NOTES)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Internet Explorer 7.0 (SEE NOTES) (Rev 3)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r19 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r61 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r63 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 8.0.r22 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 1 (KB10806) (x86)	更新	10.1.1	<input type="checkbox"/>	Mozilla Firefox (French) 3.0 for Windows (Full/Unrarad) (Rev 7)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1
選択	パッチ名	説明	バージョン																																											
<input type="checkbox"/>	Citrix Presentation Server Client Package 10.200 (All Languages)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Internet Explorer 7 Blocker Toolkit (SEE NOTES)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Internet Explorer 7.0 (SEE NOTES) (Rev 3)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r19 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r61 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 7.0.r63 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Macromedia Flash Player 8.0.r22 for IE	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 1 (KB10806) (x86)	更新	10.1.1																																											
<input type="checkbox"/>	Mozilla Firefox (French) 3.0 for Windows (Full/Unrarad) (Rev 7)	ソフトウェアインストーラ	10.1.1																																											

デバイスグループのパッチ管理

8

デバイスグループのパッチは、ネットワーク内のデバイスグループ（サーバグループまたはワークステーショングループのいずれか）のメンバーに割り当てられているパッチを指し、各デバイスのパッチのステータスを示します。このビューは、選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチのみを表示します。

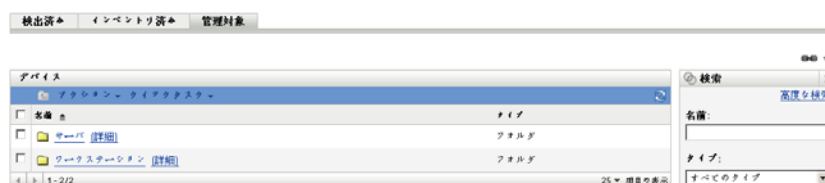
- ◆ 87 ページのセクション 8.1 「サーバグループ内での [パッチ] タブの使用」
- ◆ 88 ページのセクション 8.2 「ワークステーショングループ内での [パッチ] タブの使用」

8.1 サーバグループ内での [パッチ] タブの使用

このビューは、選択したサーバグループのメンバーデバイスに該当するパッチを表示します。

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

- 2 [サーバ] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバグループのリストが表示されます。



- 3 必要なグループ (サーバグループまたは動的サーバグループ) をクリックします。
- グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。
- [Windows Server 2003] タイプを選択した場合、次の図に示すようなページが表示されます。



- 4 [パッチ] タブをクリックします。
- 選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチが表示されます。選択したグループが [Windows Server 2003] の場合、次の図に示すように、[パッチ] タブには [Windows Server 2003] 内のメンバーデバイスに該当するすべてのパッチが表示されます。



選択したサーバグループの [Device Group Patches(デバイスグループパッチ)] ページの機能の情報については、67 ページの「強制的なベースラインについて」を参照してください。

8.2 ワークステーショングループ内での [パッチ] タブの使用

このビューは、選択したワークステーショングループのメンバーデバイスに該当するパッチを表示します。

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。
- 各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。

2 [Workstations] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたワークステーショングループのリストが表示されます。

デバイス > ワークステーション

デバイス						
新規 編集 削除 アクション キーアクション						
<input type="checkbox"/>	ステータス	名前	タイプ	オペレーティングシステム	最近の連絡	使用停止
<input type="checkbox"/>		Windows 2000 Workstations	動的ワークステーショングループ			
<input type="checkbox"/>		Windows Vista Workstations	動的ワークステーショングループ			
<input type="checkbox"/>		Windows XP Workstations	動的ワークステーショングループ			
<input type="checkbox"/>		dexsp3	ワークステーション	winxp-pro-sp3-x86	5/20	
<input type="checkbox"/>		n112-tcxp-ok	ワークステーション	winxp-pro-sp2-x86	5/20	
<input type="checkbox"/>		n0112-xpl23	ワークステーション	winxp-pro-sp2-x86	14:41	
<input type="checkbox"/>		tw-270xpsp2	ワークステーション	winxp-pro-sp2-x86	14:30	
1 - 7/7					25 項目の表示	

3 必要なグループ (ワークステーショングループまたは動的ワークステーショングループ) をクリックします。

グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[Windows XP ワークステーション] という動的ワークステーショングループを選択したときに表示されるページを示しています。

デバイス > ワークステーション > Windows XP Workstations

Windows XP Workstations	
概要	関係
詳細	
バグ	
全般	
オブジェクトタイプ:	動的ワークステーショングループ
GUID:	52058e567040c9ec748084d985733c3
説明: (編集)	Windows XP Workstation Group
メンバー	
名前	名前と内
tw-270xpsp2	/デバイス/ワークステーション
dexsp3	/デバイス/ワークステーション
n112-tcxp-ok	/デバイス/ワークステーション
1 - 3/3	
5 項目の表示	

4 [パッチ] タブをクリックします。

選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチが表示されます。選択したグループが Windows XP ワークステーションの場合、次の図に示すように、[パッチ] タブには Windows XP ワークステーショングループ内のメンバーデバイスに該当するすべてのパッチが表示されます。



選択したワークステーショングループの [Device Group Patches(デバイスグループパッチ)] ページの機能の情報については、67 ページの「強制的なベースラインについて」を参照してください。

パッチ管理のトラブルシューティング

A

次のセクションでは、Novell® ZENworks® 10 Patch Management を使用しているときに表示される可能性があるエラーメッセージや発生する可能性がある問題の詳細について説明します。

- ◆ 91 ページのセクション A.1 「インストールに関する問題」
- ◆ 91 ページのセクション A.2 「アップグレードに関する問題」
- ◆ 93 ページのセクション A.3 「パッチ管理の問題」
- ◆ 97 ページのセクション A.4 「設定の問題」

A.1 インストールに関する問題

- ◆ 91 ページの「ベータ 2 で、パッチのテストをしようとする場合、ZENworks のクリーンインストールが必要になる」

ベータ 2 で、パッチのテストをしようとする場合、ZENworks のクリーンインストールが必要になる

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

考えられる原因：バンドル使用での変更および自動再起動に関する問題のため、ベータ 1 からベータ 2 へのアップグレードにシステム更新を使用した場合、パッチ適用時にエラーが発生することがあります。

アクション：パッチ適用時にエラーが発生した場合は、ベータ 1 からベータ 2 にアップグレードするのではなく、ZENworks を新規インストールしてください。

A.2 アップグレードに関する問題

- ◆ 92 ページの「ZENworks 10 Configuration Management を 10.1.3 から 10.2 にアップグレードすると、すべてのパッチ管理設定がリセットされる」
- ◆ 92 ページの「ZENworks 10 Configuration Management をアップグレードしたとき、以前のバージョンからパッチバンドルの割り当てを使用できるか？」
- ◆ 92 ページの「ZENworks 10 Configuration Management を 10.1.3 から 10.2 にアップグレードすると、ZENworks 10 Configuration Management サーバ 10.1.3 および以前のエージェントが機能しない」
- ◆ 93 ページの「アップグレード後、バンドルのステータスはサブスクリプションサービスが開始する前に「完了」になる」
- ◆ 93 ページの「10.1.0 から 10.2.0 へのアップデートでの、プレグローバルアクション中の例外」

ZENworks 10 Configuration Management を 10.1.3 から 10.2 にアップグレードすると、すべてのパッチ管理設定がリセットされる

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：ZENworks 10 Configuration Management 10.2 では、サテライトおよびその他の品機能を使用できるようになり、設定するパッチバンドル配布オプションが追加されました。すべてのユーザがすべてのオプションを変更できるようにするため、設定を完全にクリアしました。設定がクリアされたため、新しいプライマリサーバを使用してパッチをダウンロードし、新しいライセンス情報をゾーンに入力し、サテライト配布設定をパッチ管理の使用開始前に適切に変更できます。

アクション：10.2 Service Pack 2 アップデートは、Patch Tuesday の週（各月の第 2 火曜日）ではなく、繁忙ではない時期に適用し、パッチをサブスクリプションからダウンロードする時間を確保します。すべての設定をゾーンについて再入力する必要があります。サブスクリプションシリアル番号の入力、パッチサブスクリプションを初めて起動する方法、プロキシ設定およびダウンロード言語の指定方法については、**17 ページの第 3 章「パッチ管理の使用」**を参照してください。

ZENworks 10 Configuration Management をアップグレードしたとき、以前のバージョンからパッチバンドルの割り当てを使用できるか？

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：ZENworks 10 Configuration Management 10.2 では、サテライトおよびその他の品機能を使用できるようになり、設定するパッチバンドル配布オプションが追加されました。すべてのユーザがすべてのオプションを変更できるようにするため、設定を完全にクリアしました。設定がクリアされたため、新しいプライマリサーバを使用してパッチをダウンロードし、新しいライセンス情報をゾーンに入力し、サテライト配布設定をパッチ管理の使用開始前に適切に変更できます。

アクション：以前のバージョンからのパッチバンドルの以前の割り当てが必要な場合、アップグレード前に次の手順に従ってください。以前の製品からパッチバンドルの以前の割り当てを参照できるようになります。

- 1 [バンドル] フォルダの [ZPM] サブフォルダに移動します。
- 2 新しいフォルダ名 [10.1 Patch Bundles] を作成します。
- 3 すべてのバンドルを [10.1 Patch Bundles] に移動させます。

ZENworks 10 Configuration Management を 10.1.3 から 10.2 にアップグレードすると、ZENworks 10 Configuration Management サーバ 10.1.3 および以前のエージェントが機能しない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：以前のエージェントでは、10.2 に追加された新しい機能をサポートしていません。

アクション：パッチ管理ダウンロードサーバとエージェントをアップグレードし、10.2 と同期させます。

アップグレード後、バンドルのステータスはサブスクリプションサービスが開始する前に「完了」になる

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：アップグレードシナリオで、以前のバンドルダウンロードは正常に実行されています。

アクション：不要。

10.1.0 から 10.2.0 へのアップデートでの、プレグローバルアクション中の例外

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：パッチ管理を使用しているゾーン内の既存の ZENworks 10 Configuration Management サーバをアップグレードする場合、パッチがダウンロードされていない、エージェントが毎日の Discover Applicable Update を実行していない、空いている時間にアップグレードを実行することが重要です。繁忙な期間に ZENworks 10 Configuration Management の 10.2 へのアップグレードが実行された場合、データベースクリーンアップ中にアップグレードログに例外が記録されることがあります。このような問題が発生した場合は、アップグレードスクリプトを再度実行して、すべてのデータをデータベースからクリーンアウトしてください。

アクション：マルチサーバゾーンで、パッチ管理の設定を再設定する前に、すべてのサーバをアップグレードします。アップグレードする各サーバは、パッチ管理データベース設定をクリーンアウトするため、新しいバージョンでパッチ管理を再度使用開始する前に、すべてのサーバをバージョン 10.2 にすることが重要です。

A.3 パッチ管理の問題

- ◆ 93 ページの「ZENworks Patch Management 向けの Akamai への CDN スイッチのため、パッチが使用できない」
- ◆ 95 ページの「[パッチ] タブにパッチが表示されない」
- ◆ 96 ページの「パッチがターゲットデバイスに展開されていないように見える」
- ◆ 96 ページの「[再起動が必要] ダイアログボックスで [キャンセル] ボタンが表示されない」
- ◆ 96 ページの「優先パッチが「適用なし」と表示される」
- ◆ 96 ページの「スケジュールした時間にパッチの展開が開始されない場合がある」
- ◆ 97 ページの「一部のパッチ用に MSI (Microsoft System Installer) をアップデートする必要がある」

ZENworks Patch Management 向けの Akamai への CDN スイッチのため、パッチが使用できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：2008 年 2 月 18 日の週、ZENworks 10 Patch Management が使用するパッチコンテンツ Web サイトのホスティングインフラストラクチャが、Akamai へ新規ホストプロバイダとして移行されました。この切り替えは、グローバル DNS 変更によって実施されました。

アクション： 次の手順に従います。

- 1 次の Web サイトへのアクセスを開きます。
 - ◆ PLHOST ライセンスサーバ (<https://novell.patchlink.com>)
 - ◆ Akamai パッチダウンロード (<http://novell.cdn.lumension.com>)
 - ◆ Microsoft パッチ Web サイト (<http://www.download.windowsupdate.com>)
- 2 [環境設定] ページで [SSL Download(SSL のダウンロード)] をオフにします (22 ページの「サブスクリプションダウンロード詳細の設定」を参照してください)。
- 3 現在パッチ管理機能を実行している ZENworks プライマリサーバから、新規ホストプロバイダへの接続をテストします。

- ◆ ping テスト：

ping テストを実行するには、サーバコンソールにログインして、コマンドプロンプトまたはシェルウィンドウを起動します。

```
ping novell.cdn.lumension.com
```

サーバで Akamai ホスティングネットワークに正常に接続できる場合は、次に示すものと同様の応答が返されます。

```
Pinging a1533.g.akamai.net [12.37.74.25] with 32 bytes of data: Reply from
12.37.74.25: bytes=32 time=14ms TTL=55 Reply from 12.37.74.25: bytes=32
time=14ms TTL=55 Reply from 12.37.74.25: bytes=32 time=14ms TTL=55
Reply from 12.37.74.25: bytes=32 time=13ms TTL=55 Ping statistics for
12.37.74.25: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate
round trip times in milli-seconds: Minimum = 13ms, Maximum = 14ms,
Average = 13ms
```

ping コマンドは、現在の位置に最も近い AKAMAI サーバのアドレスを示します。次のようなメッセージが受信されます。

```
Ping request could not find host novell.cdn.lumension.com. Please check the
name and try again.
```

ファイアウォール管理者は、ping と HTTP(tcp port80) トラフィックの両方について Akamai ネットワークへのアクセスを開く必要があります。

- ◆ ブラウザテスト：

Web ブラウザを使用して、次の URL を入力します。

```
http://novell.cdn.lumension.com/novell/pulsar.xml
```

ブラウザには、次のような Web サイトからの書式設定付き出力が表示されます。

```
- <sub>
- <os name="Windows">
- <arch name="x86">
- <lang name="Japanese">
  <lst> windows/x86/ja/applications.lst </lst>
  <lst> windows/x86/ja/software.lst </lst>
  <lst ver="XP" spack="3"> windows/x86/ja/xp3.lst </lst>
  <lst ver="XP" spack="2" legacy="Y"> windows/x86/ja/xp2.lst </lst>
  <lst ver="XP" spack="1" legacy="Y"> windows/x86/ja/xp1.lst </lst>
  <lst ver="2000" spack="4"> windows/x86/ja/2ksp4.lst </lst>
  <lst ver="2000" spack="3" legacy="Y"> windows/x86/ja/2ksp3.lst </lst>
  <lst ver="2003" spack="2"> windows/x86/ja/2k3sp2.lst </lst>
  <lst ver="2003" spack="1" legacy="Y"> windows/x86/ja/2k3sp1.lst </lst>
  <lst ver="2003" spack="0" legacy="Y"> windows/x86/ja/2k3sp0.lst </lst>
  <lst ver="VISTA" spack="0" legacy="Y"> windows/x86/ja/vistasp0.lst </lst>
  <lst ver="VISTA" spack="1"> windows/x86/ja/vistasp1.lst </lst>
</lang>
```

ブラウザで XML ファイルにアクセスできない場合、ブラウザでタイムアウトが発生し、一種のエラーメッセージが発生します。ping テストが成功し、ブラウザテストに失敗する場合、これはファイアウォール管理者が Akamai ネットワークへ限定的なアクセスを設定し、HTTP(TCP ポート 80) がブロックされていることを示します。ライセンスサーバは ZENworks Patch Management 6.4 と同じアドレスを使用しているため、パッチ管理の使用を登録するためにシリアル番号を入力するには、ファイアウォールルールに以前のサーバの IP アドレスを残しておく必要があります。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management のファイアウォール情報：

ZENworks 10 Patch Management ライセンスレプリケーションは、次のサーバにアクセスします。

206.16.247.2

206.16.45.34

Port 443

ZENworks 10 Patch Management コンテンツレプリケーションは、次の DNS 名にアクセスします。

<http://novell.cdn.lumension.com/novell>

特定のサーバが使用している IP を判定するには、複数のマシンから ping novell.cdn.lumension.com を実行し、該当するアドレス範囲をファイアウォールルールに入力します。

【パッチ】 タブにパッチが表示されない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

考えられる原因： サーバがインストールされたばかりです。

アクション： パッチサブスクリプションダウンロードを開始して、パッチが novell.patchlink.com から自動的にダウンロードされるまで、20 分以上待機する必要があります。

パッチがターゲットデバイスに展開されていないように見える

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

考えられる原因：ZENworks 管理者がパッチを ZENworks サーバの該当するデバイスに展開していない、またはパッチがサーバに展開されているが、デバイス更新スケジュールが ZENworks Adaptive Agent でトリガされていません。

アクション：[環境設定] タブで [デバイスの更新スケジュール] オプションが [手動の更新] または [スケジュールされた更新] に設定されていることを確認して、指定された時間、待機します。

[再起動が必要] ダイアログボックスで [キャンセル] ボタンが表示されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：複数のパッチが展開され、サーバの [インストール前の通知オプション] ページおよび [通知および再起動オプション] ページで、[ユーザによるキャンセルを許可] オプションが [いいえ] に設定されている場合、エージェントのすべてのパッチについて [再起動が必要] ダイアログボックスで [キャンセル] ボタンが表示されません。

アクション：不要。仕様どおりに機能しています。

優先パッチが「適用なし」と表示される

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明：パッチ管理の以前のリリースでは、パッチが新しいか古いかに関係なく、パッチのステータスは「パッチ適用済み」または「パッチなし」と表示されていました。このため、指定したターゲットデバイスへの展開に実際に必要であっても、それよりも多くのパッチが「パッチなし」と表示されることがよくあります。この問題は、ZENworks 10 Configuration Management SP2 で提供されている多くの新しい詳細コンテンツパッチで解決されています。

- ◆ パッチが置き換えられると、自動的に無効になります。
- ◆ パッチが再び有効にされて検出されると、ほとんどの場合、最新のパッチによって置換されているため、パッチのステータスは「適用なし」と表示されます。

これは旧バージョンのパッチ管理の動作とは一貫していませんが、各デバイスで現在インストールする必要のあるパッチだけが報告または分析されるので、この変更は改善といえます。

アクション：不要。

スケジュールした時間にパッチの展開が開始されない場合がある

ソース：ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

考えられる原因：展開スケジュールのタイプに、[繰り返し] オプションと [デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する] オプションの両方が含まれている場合、デバイスがアクティブになって

も、スケジュールされている最初の繰り返し日にパッチの展開が開始されません。ただし、パッチは次の繰り返し日が発生したときに展開されます。

アクション： 繰り返しスケジュールを選択する代わりに、日付に固有のスケジュールを選択して、デバイスがアクティブになったときにパッチが適用されるようにします。

一部のパッチ用に MSI (Microsoft System Installer) をアップデートする必要がある

ソース： ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

説明： 特定の .NET パッチを展開するには最新の MSI をインストールしなければならない場合があります。そうしないと、これらのパッチの展開時にエラーが発生する可能性があります。

アクション： .NET パッチを展開する前に、MSI のあるバージョンが前提条件になっているかどうかを検証してください。必要な場合は、システムに最新の MSI (バージョン 3.1 以降) を展開するためのバンドルを作成します。MSI は [Microsoft \(http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=889482fc-5f56-4a38-b838-de776fd4138c&displaylang=en\)](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=889482fc-5f56-4a38-b838-de776fd4138c&displaylang=en) から入手できます。

A.4 設定の問題

- 97 ページの「自動再起動を行うパッチの展開で、デバイスがシャットダウンされる」

自動再起動を行うパッチの展開で、デバイスがシャットダウンされる

ソース： ZENworks 10 Configuration Management - パッチ管理。

考えられる原因： 自動再起動を行うパッチ展開を試行すると、マシンが再起動ではなくシャットダウンされることがあります。パッチ結果を ZENworks サーバにレポートできないこともあります。

アクション： [自動再起動] オプションを使用せず、[クイックタスク] で再起動を実行します。

